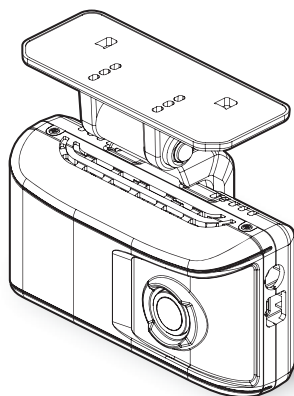


# ドライブレコーダー COM-PRO V

取付説明書／取扱説明書／保証書



事故発生時は記録された録画データが上書きされないように、必ず microSD カードを抜いて保管してください。

この度は本製品をお買い求めいただきまして誠にありがとうございます。本書は取付けおよび操作手順について記載してあります。正しくご使用いただくために本書をよくお読みのうえ、ご使用ください。お読みになった後は、いつでも見ることが出来る所に保管してください。

なお、本書の巻末に保証書が添付されています。必要事項を記入し、大切に保管してください。

## ⚠ 注意

- ・メインカメラ動作中は、通気孔付近やカメラ接続端子、レンズ、SD カードスロット周辺、SD カードは高温になりますが異常ではありません。触れる際はご注意ください。
- ・エンジンを ON (エンジンスイッチを ACC または ON) にした状態で microSD カードの抜挿しを行わないでください。microSD カードの破損や録画データの破損の原因となります。必ず、エンジンスイッチを OFF 後 microSD カードのアクセスランプ (橙) が消灯したことを確認し、microSD カードの抜挿しを行なってください。



microSD カード  
アクセスランプ

はじめに

取付け

映像を撮る

映像を見る

設定

駐車録画機能  
を使用する

その他



# 目次





目次	2	メンテナンス設定	59
はじめに	3	パスワードを設定する	63
安全上のご注意	3	録画データを消去する	64
ご使用上の注意	5	工場出荷時に戻す	65
ご使用上のお願い	7	<b>駐車録画機能を使用する</b>	<b>66</b>
新しい microSD カードを 使用する場合について	7	駐車録画機能について	66
知っておきたいこと	8	駐車録画モード作中の microSD カードの取り出し方	66
microSD カードの 取り出し方について	10	駐車録画モードの動作について	67
梱包内容	11	駐車録画機能の各種設定	68
別売オプション	12	駐車録画モード時の記録時間 (保存時間)の目安	70
メインカメラ各部名称	13	<b>付 録</b>	<b>72</b>
<b>取付方法</b>	<b>14</b>	こんなときは?	72
取付手順を確認する	14	アナウンサー一覧表	73
取付時のお願い	15	LED ランプ確認表	75
接続全体図	19	ヒューズの交換方法について	76
車両情報ケーブルを取付ける	21	商標について	76
メインカメラを取付ける	25	製品仕様	77
取付け後の確認と設定	30	<b>保証規定</b>	<b>79</b>
<b>映像を撮る</b>	<b>32</b>	<b>COM-PRO V 保証書</b>	<b>裏面</b>
映像の記録について	32		
電源を ON にする	39		
電源を OFF にする	40		
リセットスイッチについて	40		
<b>映像を見る</b>	<b>41</b>		
パソコンで映像を再生する	41		
運行データとイベントデータを 出力する	46		
運転日報を出力する	48		
パソコンで録画データを保存する	50		
<b>設 定</b>	<b>51</b>		
設定を変更する	51		
設定一覧	53		
基本設定	56		






## 安全上のご注意

ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。ここに記載された注意事項は、お使いになる方や他の人への危害や損害を未然に防止するため、必ずお守りください。

また注意事項は誤った取扱いをした時に生じる危害や損害の程度を、「警告」、「注意」の2つに区分して、説明しています。









 <b>警告</b>	この表示は「使用者が死亡や重傷を負う可能性が想定される内容」を示しています。
 <b>注意</b>	この表示は、「使用者が傷害や物的損害を被る可能性が想定される内容」を示しています。

本書で使用している記号について	
	この記号は、してはいけない「禁止」内容を示しています。
	この記号は、しなければならない「強制」内容を示しています。
	この記号は、気をつけていただきたい「注意」内容を示しています。
⇒ PXX	参照先を記載しています。(XX はページ)
 アドバイス	本製品に関する補足情報を説明しています。
<b>長押し</b>	スイッチを3秒程度長めに押すことを示しています。







 <b>警告</b>	
	運転者は走行中に本製品を操作しないでください。わき見や前方不注意により交通事故の原因となります。運転者が操作する場合は、必ず安全な場所に車を停車させてから行なってください。
	本製品を水につけたり、水をかけたり、またぬれた手で操作しないでください。火災・感電・故障の原因となります。
	本製品を分解・改造しないでください。火災・感電・故障の原因となります。
	本製品を医療機器の近くで使用しないでください。医療機器に影響を与えるおそれがあります。

# はじめに

## ⚠ 警告

-  穴やすき間にピンや針金を入れないでください。感電や故障の原因となります。
-  異物が入ったり、煙が出ている、変な臭いがするなど異常な状態では使用しないでください。発火して火災の原因となります。
-  運転の妨げになる場所には取付けしないでください。事故の原因となります。
-  エアバッグの展開場所には取付けしないでください。万が一エアバッグが作動した場合、怪我の原因となります。また、配線等によりエアバッグの動作不良を起こす原因となります。
-  本製品が万一破損・故障した場合は、すぐに使用を中止して販売店へ点検・修理を依頼してください。そのまま使用すると火災・感電・車両の故障の原因となります。
-  microSD カードは子供の手の届かない場所に保管してください。誤って飲み込んでしまうおそれがあります。
-  取付けネジの緩み、両面テープの剥がれなどないか、定期的に点検を行なってください。運転の妨げや事故の原因となることがあります。
-  本製品を使用する場合は必ず弊社が指定した電源ケーブルをご使用してください。指定以外のものを使用すると、火災、感電、故障の原因になります。

## ⚠ 注意

-  気温の低いところから高いところへ移動すると、メインカメラ内に結露が生じることがあります。故障や発熱などの原因となりますので、結露したまま使用しないでください。
-  メインカメラの通気孔を塞がないでください。内部に熱がこもり、故障の原因となります。
-  本製品を下記のような場所で保管しないでください。変色や変形など故障の原因となります。
  - ・直射日光が当たる場所や真夏の炎天下など温度が非常に高い所。
  - ・湿度が高い所やほこりの多い所。
-  microSD カードを本製品に挿入する場合、挿入方向を間違えないでください。故障や破損の原因となります。
-  本製品は精密な電子部品で構成されており、下記のようなお取扱いをするとデータの破損、故障の原因となります。
  - ・本製品に静電気や電気ノイズが加わった場合。
  - ・本製品を水に濡らしたり、落としたり、強い衝撃を与えた場合。
-  一部の先進運転支援システム装着車の場合、取付け位置によっては制御に影響を及ぼすおそれがあります。取付け前に、車両の取扱説明書をご確認ください。

## ご使用上の注意

「ご使用上の注意」とは、注意を無視した取扱をすると使用者が傷害や物的損害を被る可能性のある事項や、弊社が責任を負わない事項を指します。

- **本製品は全ての映像を記録することを保証するものではありません。あらかじめご了承ください。**
- 本製品は事故発生時の参考資料として使用することを目的とした製品です。完全な証拠としての効力を保証するものではありません。
- 本製品は車載用ドライブレコーダーとして設計されています。それ以外の用途には使用しないでください。またそれ以外の用途で使用した場合の不具合等に関しては一切の責任を負いかねます。
- LED 式信号機は LED が高速で点滅しているため、信号機が点滅しているような映像が記録される場合があります。また逆光や信号機自体の輝度が低い等により、信号機の色が識別できない場合があります。信号機の識別、記録に関する内容について弊社は一切の責任を負いかねます。
- microSD カード内に本製品以外のデータを入れないでください。動作が不安定になることがあります。
- microSD カードをメインカメラに差込む場合、差込み方向を間違えないでください。故障や破損の原因となります。
- microSD カードを抜く時は必ず、エンジンスイッチ OFF 後 **microSD カードのアクセスランプ (橙) が消灯**したことを確認してから抜いてください。microSD カードへのデータ書き込み中および読み込み中に microSD カードの抜挿しを行うと、データ破損やデータ消失、microSD カード故障の原因となりますのでご注意ください。
- **本製品を使用中にデータが破損、紛失、消失した場合、弊社は一切の責任を負いかねます。**
- メインカメラの通気口を塞いだり、物を入れないでください。故障の原因となります。
- 本製品は精密な電子部品で構成されており、下記のようなお取扱いをするとデータの破損、故障の原因となります。
  - ・ 本製品に静電気や電気ノイズが加わった場合。
  - ・ 本製品を水にぬらしたり、落としたり、強い衝撃を与えた場合。
  - ・ 長期間使用しなかった場合。
- 本製品を動作温度範囲外で使用すると、正常に動作しない場合や、映像が正常に記録されない場合があります。

# はじめに

- ガラスにスモークフィルムが貼られた車両（純正プライバシーガラス装着車除く）や夜間の明かりがない場所などでは、道路状況が見えにくい映像が記録される場合があります。あらかじめご了承ください。
- サンシェード等の日除けを使用する際は、**本製品をフロントガラスとサンシェードの間に挟み込まないようにしてください。**熱がこもりやすくなるため、両面テープ剥がれおよび動作不良の原因となります。
- 一部断熱ガラス（金属コーティング・金属粉入りなど）、一部熱吸収ガラス、一部のミラー式フィルム装着車の場合、GPS 衛星からの電波が受信できない場合があります。
- 弱電界地域では地上デジタルテレビ放送が映らなくなる場合があります。
- Windows のアップデートや Google マップの仕様変更などにより、ビューワソフトで地図が表示できないなど、正常に動作しなくなることがあります。あらかじめご了承ください。
- 本製品にはお買い上げの日から 2 年間の製品保証がついています。（ただし microSD カード、両面テープ等の消耗品は保証の対象となりません）
- 本製品は動作安定性向上のため、ソフトウェア（ファームウェア）のアップデートプログラムを弊社ホームページで公開する場合があります。定期的に弊社ホームページをご確認いただき、常に最新のバージョンでのご使用を推奨します。  
※アップデートプログラムのダウンロードにかかる通信費やアップデートに関する作業代はお客様のご負担となります。
- 本製品を船舶、航空機、バイク、自転車で使用しないでください。
- 本製品は DC12V/24V 車専用です。
- 本製品は日本国内でのみ使用できます。海外では使用できません。
- 部品の交換修理、パーツ購入に関しましては販売店にお問い合わせください。
- 本製品の故障による代替品の貸出は弊社では一切行なっておりません。
- 本製品の仕様および外観は改良のため、予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。

万一の事故発生時に映像が記録されていなかったり、記録した映像が破損した場合など、本製品の動作有無にかかわらず一切の責任を負いかねますのでご了承ください。

## ご使用上のお願い

「ご使用上のお願い」とは、本製品を正しくご使用いただくうえで、知っておいてもらう必要のある事項を指します。

- 本製品は使用方法によりプライバシーなどの権利を侵害するおそれがありますのでご注意ください。またイタズラなどの目的で使用しないでください。これらの場合について、弊社は一切の責任を負いかねます。
- **事故発生時は記録された録画データが上書きされないように、必ず microSD カードを抜いて保管してください。**
- 万一のデータ消失に備え、必要なデータはパソコンに動画で保存してください。
- メインカメラは広角レンズを使用しているため、映像の一部にゆがみや影が生じることがあります。また実際の遠近感とも異なります。これらは広角レンズの特性であり、異常ではありません。

## 新しい microSD カードを使用する場合について

- ・新しい microSD カードや付属以外の microSD カードを使用する際は、必ず起動時のアナウンスに従いメインカメラで SD カードのフォーマット（⇒ P73）を行なってください。
- ・新しい microSD カードをご購入する際は、補給品設定されている microSD カードをご使用ください。付属品および補給品以外の microSD カードとの相性による動作不良については一切の責任を負いかねます。

### ■フォーマットにかかる時間の目安

microSD カード容量	フォーマット時間
64GB (同梱品)	約 5 分
128GB	約 5 分

SD カードのフォーマットを行うと、microSD カードに記録されたデータがすべて消去されます。必ず必要な録画データをパソコンに保存するなど、データのバックアップを行なってください。（⇒ P50）

# はじめに

## 知っておきたいこと

### ● microSD カードについて

- ・付属の microSD カードは本製品専用です。
- ・本製品を使用するときは、microSD カードが必要です。  
本製品の対応 microSD カードと付属 microSD カードは以下の通りです。  
※対応 microSD カード：32GB～128GB (Class10 推奨)  
※本製品付属 microSD カード：64GB (Class10)
- ・microSD カードは消耗品であり、書き込み可能回数など製品寿命があります。1日2時間程度使用する場合で約2～3年を目安に交換することをおすすめします。また、使用状況により microSD カードの寿命は短くなります。※寿命となった microSD カードはパソコンでも読み込みができなくなるなど、正常に動作しなくなります。
- ・microSD カードを本製品のビューワソフト設定項目から録画データの初期化を行うと記録されたデータがすべて消去されます。
- ・本製品使用時は付属の microSD カードを使用してください。付属品および補給品以外の microSD カードとの相性による動作不良については一切の責任を負いかねます。

### ● GPS とは

「Global Positioning System」アメリカ国防総省の衛星を利用し、地上での現在位置を計測するシステムです。

### ● GLONASS とは

「GLObal' naya NAVigatsionnaya Sputnikovaya Sistema」ロシア宇宙軍の衛星を利用し、地上での現在位置を計測するシステムです。

### ● 準天頂衛星「みちびき」(QZSS) とは

「Quasi Zenith Satellites System」宇宙航空研究開発機構 (JAXA) の衛星を利用し、日本上空での現在位置を計測するシステムです。「みちびき」からの信号を受信することにより、GPS のみによる測位に比べ、山間部や都心部の高層ビル街などでも、さらに正確な現在位置を計測できるようになりました。

### ● 衛星受信までの時間について

本製品を初めて使用する時や長時間使用しなかった場合、衛星を受信するまで5分程度時間がかかることがあります。

### ● 衛星データ

本製品は、一旦 GPS 衛星を正常に受信した後、衛星の移動軌跡を計算し記憶します。これは走行時にトンネルなどで衛星受信ができなくなった場合、再受信するまでの処理を早めるためです。また、まれに GPS 受信が長時間に渡ってできない場合があります。



## ● GPS 衛星受信と車載電子機器

ナビゲーション本体や、地デジチューナーおよび衛星放送受信機などの車載電子機器からの漏れ電波により、GPS 衛星を受信できないことがあります。

## ● GPS の測定誤差について

本製品の測位計測機能は衛星の受信状態などにより、約 50m 程度の測定誤差が出る場合があります。

## ● GPS の速度表示について

GPS での速度計測は、車両スピードメーターの速度計測方法と異なるため、表示される速度に差が出る場合があります。

## ● 本製品のファイルシステムについて

- ・本製品はドライブレコーダー向けに開発された専用ファイルシステムを採用しています。
- ・本製品の専用ファイルシステムは記録と削除の繰り返しによる microSD カードの断片化が起こらないファイルシステムとなっているため、microSD カードを定期的にフォーマットせずに使用することができます。
- ・本製品で記録したデータをパソコンなどで削除を行うと、本製品に戻した際に録画データの整合性が取れず、起動時にアナウンスを行います。記録したデータを削除する場合は、ビューワソフトを使用して削除するか、本製品のアナウンスに従い SD カードの初期化を行なってください。
- ・**パソコンなどでフォーマットを行なった microSD カードを本製品へ挿入すると、起動時にアナウンスを行います。そのまま本製品で使用する場合はアナウンスに従い SD カードのフォーマットを行なってください。**

## ● パソコンでのフォーマットについて

パソコンで microSD カードをフォーマットする場合は、専用フォーマットソフトを使用し、フォーマットを行なってください。フォーマットソフトは、下記 SD アソシエーションのホームページから入手できます。

URL : <https://www.sdcard.org/ja/downloads-2/formatter-2/>

※フォーマットをすると、microSD カードに記録されたデータがすべて消去されます。必ずデータのバックアップを行なってください。

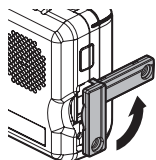
## ● ビューワソフトについて

専用ビューワソフトは弊社ホームページ (<https://www.e-comtec.co.jp/>) よりダウンロードを行うことができます。

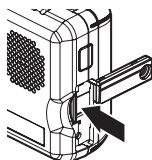
# はじめに

## microSD カードの取り出し方について

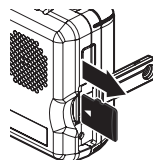
microSD カードを取り出すときは、一度 microSD カードを軽く押し込み、少し飛び出してきたら引き抜いてください。また挿入するときは、「カチッ」と音が鳴るまで挿し込んでください。



カバーを引き出し、横へ倒す。



microSD カードを軽く押し込み、



少し飛び出してきたら引き抜く。

※ 挿入する時は逆の手順で行なってください。また必ずスピーカー側に microSD カードのロゴが見えるように挿入してください。逆向きに無理矢理挿入すると破損します。

### ⚠ 注意

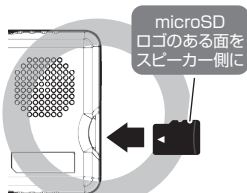
・エンジンを ON (エンジンスイッチを ACC または ON) にした状態で microSD カードの抜挿しを行わないでください。microSD カードの破損や録画データの破損の原因となります。必ず、エンジンスイッチを OFF 後 microSD カードのアクセスランプ (橙) が消灯したことを確認し、microSD カードの抜挿しを行なってください。



microSD カード  
アクセスランプ

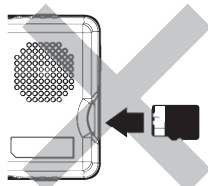
- ・microSD カードをメインカメラの microSD カードスロットに挿し込む際は、向きや挿入方向にお気を付けください。無理に挿入すると、microSD カードスロットの破損や microSD カード自体の破損の原因となります。
- ・microSD カードを抜く際に、ラジオペンチなどの工具を使用しないでください。microSD カード破損の原因となります。
- ・microSD カードの移動や保管する場合は、付属のカードケースの利用をおすすめします。

### 正しい向き

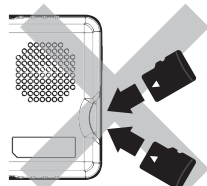


### 間違い

#### 裏向きに挿す

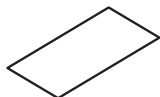
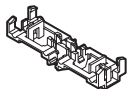
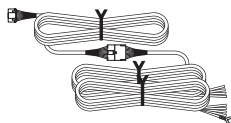
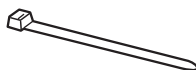
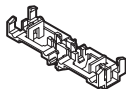
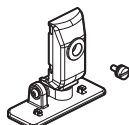
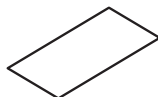


#### 斜めに挿す



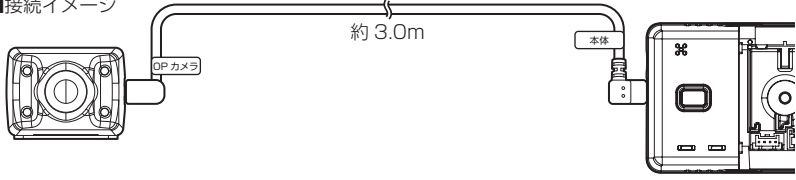
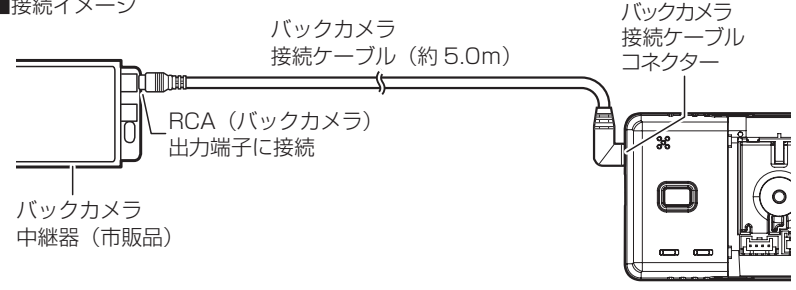
## 梱包内容

- ご使用いただく前に、以下の梱包内容が揃っていることをご確認ください。
- 万一不足している物があったり、取扱説明書に乱丁、落丁があった場合は、弊社サービスセンターにご連絡ください。

COM-PROV  
メインカメラ取付ステー固定用  
両面テープ (1枚)  
(脱脂クリーナー付)ケーブル保護テープ  
(100mm × 180mm / 1枚)エレクトロタップ  
ナチュラル色 (半透明) / Sサイズ  
(4個)※0.3sq ~ 0.5sq 用  
コードクランプ (4個)microSD カード (64GB/1枚)  
(SD カード変換アダプター付)※出荷時メインカメラに  
セットされています。車両情報ケーブル  
(1Aヒューズ内蔵)バンドクランプ  
(15cm / 10本)エレクトロタップ  
青色 / Mサイズ  
(3個)※0.85sq ~ 1.25sq 用  
取扱説明書 (本書 / 1冊)取付ステー (1個)  
(固定用ネジセット付)クッションテープ  
(100mm × 180mm / 1枚)中継コネクター固定用  
バンドクランプ  
(15cm / 2本)六角レンチ (ステー角度調整用)  
(2.5mm / 1個)

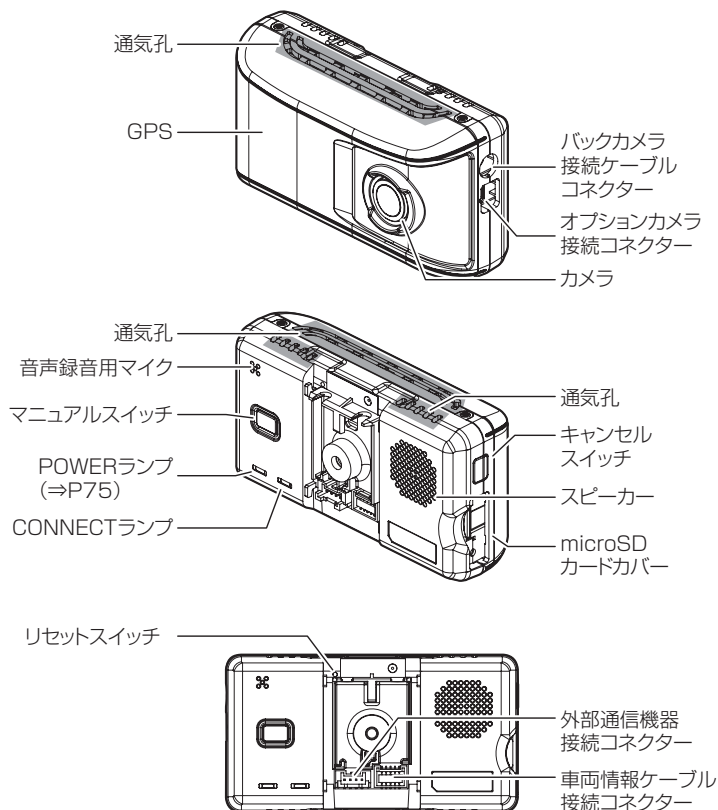
# はじめに

## 別売オプション

品番	品名	使用目的
DR0P-015	オプション カメラセット	メインカメラと接続することで車室内および周辺 道路状況などの映像記録を行うことができます。
■接続イメージ		
		
DR0P-021	バックカメラ 接続ケーブル	メインカメラを市販品のバックカメラ中継器等に 接続することで車両後方の映像記録を行うことが できます。
■接続イメージ		
		

- ※ 本書では上記オプションカメラおよびバックカメラをまとめて「サブカメラ」と扱います。
- ※ オプションカメラおよびバックカメラは、メインカメラにどちらか1台のみ接続することができます。

## メインカメラ各部名称



## ⚠ 注意

- メインカメラの動作中、メインカメラ表面が熱くなることがありますが異常ではありません。
- メインカメラの通気孔を塞がないでください。内部に熱がこもり、故障の原因となります。
- オプションカメラ接続コネクタへパソコンやスマートフォンなどを絶対に接続しないでください。故障の原因となります。

# 取付方法

## 取付手順を確認する

下記手順を参考に取付けを行なってください。

※ 取付けを行う前に必ず、車両のバッテリー（-）端子をはずして作業してください。

取付位置を確認する (P15 ~ P17)



車両に車両情報ケーブルを取付ける (P19 ~ P24)



車両にメインカメラを取付ける (P25 ~ P29)



動作確認を行う (P30 ~ P31)



パソコンで映像を確認する (P41 ~ P45)



終了

## 取付時のお願い

本製品を取付ける前に必ずお読みください。

### ⚠ 警告

- 本製品は運転や視界の妨げにならない場所に取付けてください。また、自動車の機能（エアバッグの展開範囲など）の妨げにならない場所に取付けてください。事故や怪我の原因となります。
- フロントガラスへの取付けは、道路運送車両法に基づく保安基準によりフロントガラス上部より 20% 以内に設置するよう、設置場所が限定されています。  
※道路運送車両の保安基準第 29 条（窓ガラス）、細目告示第 195 条および別添 37  
※コードクランプなどの貼付けも保安基準違反となるため、絶対に行なわないでください。
- ダッシュボードへ取付ける場合は、道路運送車両法に基づく保安基準に適合させるため、運転や視界の妨げにならない場所に取付けてください。  
※道路運送車両の保安基準第 21 条（運転者席）、細目告示第 27 条および別添 29

### ⚠ 注意

- 衝突被害軽減ブレーキシステムのカメラや防眩ミラーのセンサーなどがルームミラー裏側にある場合、車両取扱説明書に記載の禁止エリアを避けて取付けを行うか、ダッシュボードへ取付けを行なってください。
- 本製品を検査標章（車検証シール）の上に貼らないでください。
- 本製品が運転者の視界の妨げにならないように取付けを行なってください。その際ミラーと干渉しない位置に取付けしてください。
- フロントガラスのフチにあるセラミックライン部へは貼らないでください。
- 誤作動を起こす可能性があるため、本製品の近くに GPS 機能を持つ製品や VICS 受信機を設置しないでください。
- 地デジや ETC などのアンテナからは 10cm 以上離して設置してください。アンテナの近くに設置するとテレビの受信感度の低下・ノイズの原因となる可能性があります。
- フロントガラスの汚れ、雨天時の水滴などにより記録した映像が見つらなくなることがありますので、ワイパーの可動範囲に取付けを行なってください。
- 車両のフロントガラスや本製品のカメラ部分に汚れがあると、十分な映像が記録できない可能性があります。
- 本製品を取付ける際は、取付面の汚れをきれいに拭き取ってから取付けしてください。汚れなどがある場合、走行時の振動などで本製品がはずれるおそれがあります。  
※必ず付属の脱脂クリーナーを使用してください。パーツクリーナー、ガラスクリーナーなどを使用した場合、成分によっては剥がれる場合があります。
- コードなどの配線時は可動部やエッジ部などに干渉しないように注意してください。故障やショートによる火災の原因となるおそれがあります。

# 取付方法

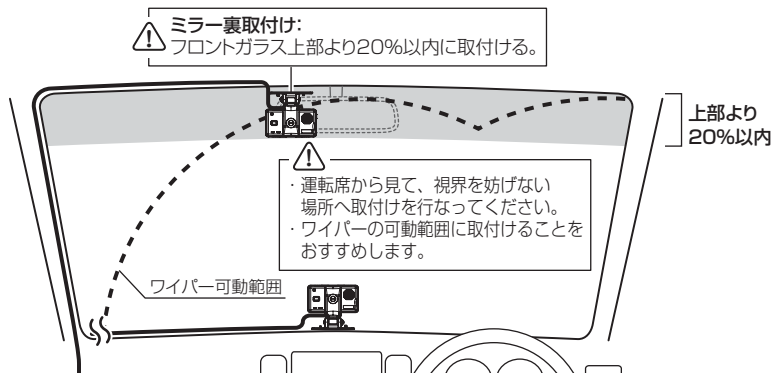
## ⚠ 注意

- ワイパーの可動範囲外に取付けるとフロントガラスの汚れ、雨天時の水滴などにより記録した映像が見づらくなることがあるため、ワイパーの可動範囲内に取付けることをおすすめします。
- ダッシュボードの形状や素材によっては貼付きにくい場合があります。また、経年劣化などにより両面テープを剥がす際に貼付面が破損するおそれがありますのでご注意ください。そのようなことが予想される場合、ルームミラー裏側フロントガラスへ取付けを行なってください。
- サンシェードなどの日除けを使用する際は、本製品をフロントガラスとサンシェードの間に挟み込まないようにしてください。熱がこもりやすくなるため、両面テープ剥がれおよび動作不良の原因となります。
- メインカメラの取付位置（フロントガラスまたはダッシュボード）により衝撃の伝わりやすさは異なるため、取付位置を変更した場合は必ず衝撃感度設定を見直してください。
- メインカメラ側に遮蔽物があると GPS 衛星からの電波が受信できなくなります。取付位置には十分注意してください。



## 取付位置について

本製品はフロントガラス、またはダッシュボードに取付けることができます。保安基準に適合させるため、必ず下図を確認のうえ、取付けを行なってください。

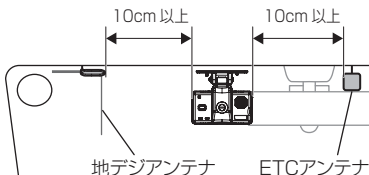


取付け

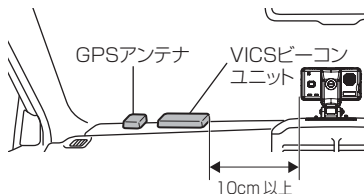
### ⚠ 注意

- ・ 地デジアンテナなどの各種アンテナより 10cm 以上離して取付けを行なってください。

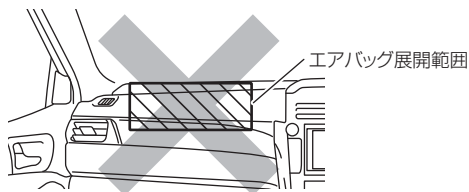
#### ■フロントガラス取付け



#### ■ダッシュボード取付け



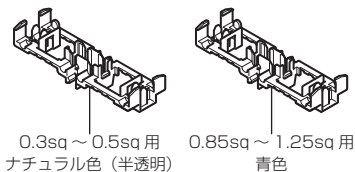
- ・ エアバッグの展開範囲には取付けないでください。エアバッグ作動時に本製品が乗員に当たるおそれがあります。



# 取付方法

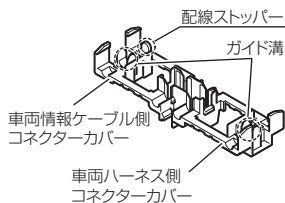
## エレクトロタップを使用した接続方法

- ・エレクトロタップを使用する場合は、接続する車両ハーネスの線径に合ったエレクトロタップを使用してください。
- ・車両ハーネスの線径に合ったエレクトロタップを使用しない場合、ハーネスの半嵌合や断線のおそれがあり、接続不良となります。



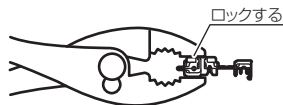
	エレクトロタップ ナチュラル色 (半透明) ／ S サイズ	エレクトロタップ 青色 / M サイズ
適用電線径	0.3sq ~ 0.5sq	0.85sq ~ 1.25sq

1) 配線ストッパーの付いている方向を確認します。



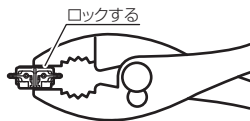
2) 配線ストッパー付きガイド溝に**車両情報ケーブル**の配線を挟み、プライヤーで均等に力が加わるように押し込みロックします。

※ プライヤーは広口にして作業してください。



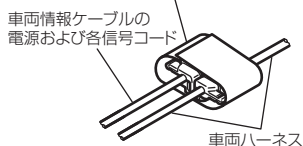
3) 配線ストッパー無しガイド溝に**車両側**の配線を挟み、プライヤーで均等に力が加わるように押し込みロックします。

※ プライヤーは広口にして作業してください。

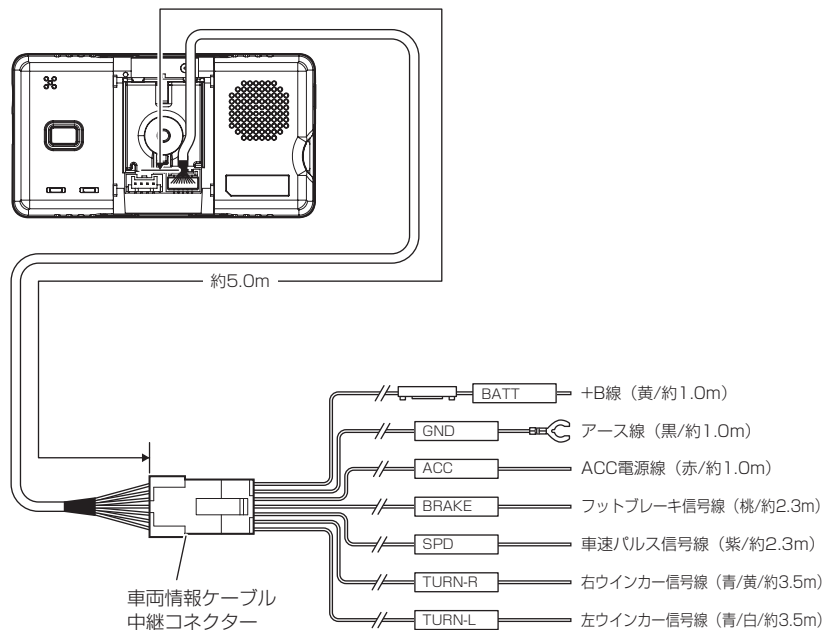


4) 最後にクッションテープ (20mm × 60mm) を巻いて異音防止をします。

クッションテープ(20mm×60mm)を巻く



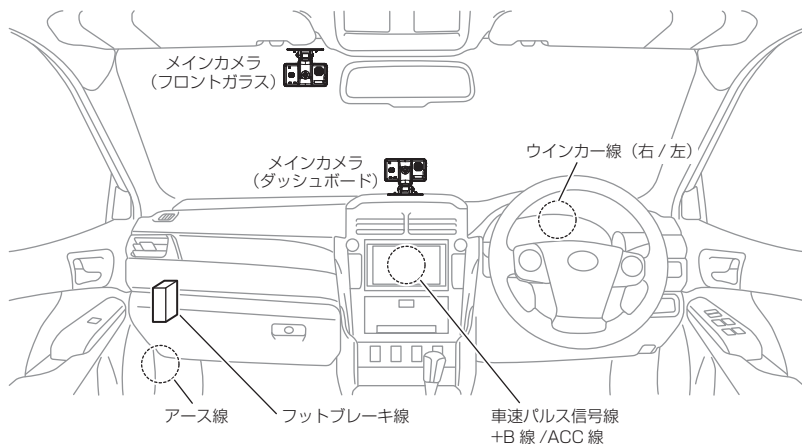
## 接続全体図



取  
付  
け

# 取付方法

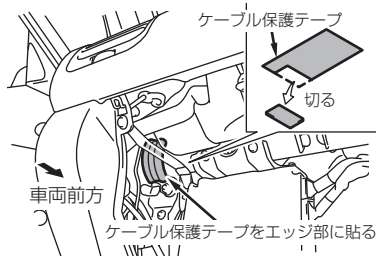
## 取付けレイアウト例



### ⚠ 注意

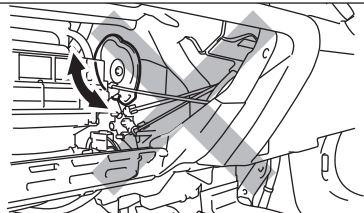
- コードを穴に通す場合や、コードが車両の金属部分に触れる場合はケーブル保護テープを使用し、必ず保護してください。コードが傷つき、故障や事故を引き起こすおそれがあります。
- 余長部分や接続しないコードは、車両側の邪魔にならない所で束ねて、バンドクランプで車両エッジ部などない安全な位置で固定してください。
- エアコンユニットなどの車両可動部周辺にコードを配策する場合はバンドクランプまたはクッションテープでコードを固定して干渉防止してください。

#### ■ケーブル保護テープ使用例



#### ■車両可動部周辺へのコード配策注意

エアコンユニットなどのレバー可動部への干渉



## 車両情報ケーブルを取付ける

### 車両バッテリーについて

取付けを行う前に必ず車両バッテリーの⊖（マイナス）端子を外した状態で取付けを行なってください。

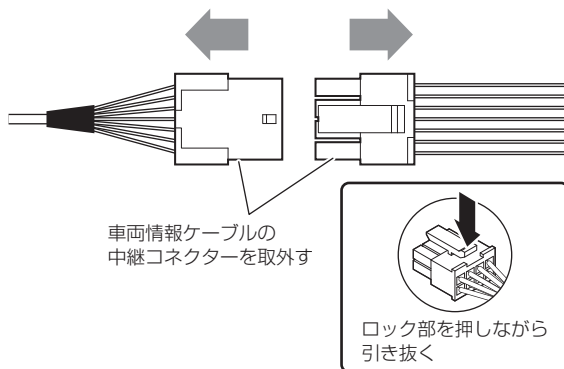


#### ⚠ 注意

- ・バッテリーを外すとオーディオ・ナビゲーション・時計などがリセットされます。
- ・ナビゲーションにパスワードが設定されている場合は、パスワードを解除してからバッテリーを外してください。解除しないとバッテリーを接続した時にパスワードを入力する必要があり、パスワードがわからないとナビゲーションが使用できなくなります。

### 車両情報ケーブルの中継コネクタについて

取付けやメインカメラへの配線を容易に行うため、車両情報ケーブルの中継コネクタを取外した状態で取付けてください。

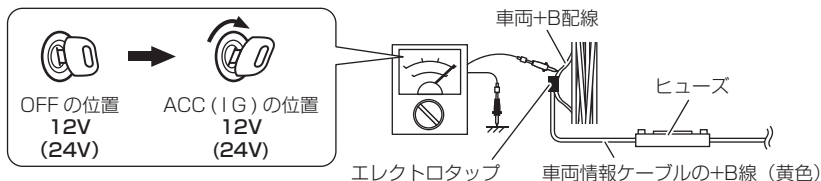


# 取付方法

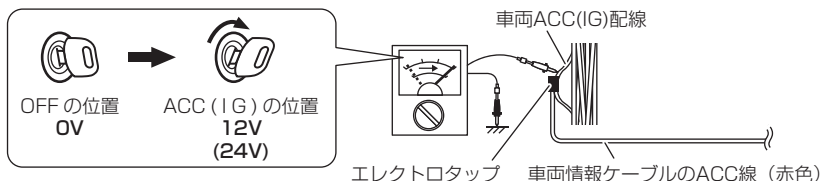
## +B線 / ACC線を接続する

車両情報ケーブルの +B 線（黄色） / ACC 線（赤色）を車両の配線にエレクトロタップで接続します。

### ■+B配線の場合



### ■ACC配線の場合



### 👉 アドバイス

#### アイドリング検出機能について

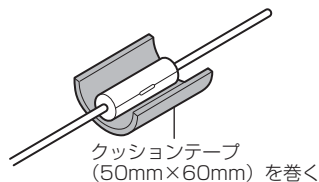
アイドリング検出機能（⇒ P61）を使用する場合、車両情報ケーブルの ACC 線を車両 IG 線に接続することをおすすめします。

※車両 ACC 線に接続した場合、ACC ON の状態（エンジン OFF）でもアナウンスを行います。

## +B線のヒューズヘクッションテープを巻く

+B線のヒューズホルダーへ異音防止のため、付属のクッションテープを巻いてください。

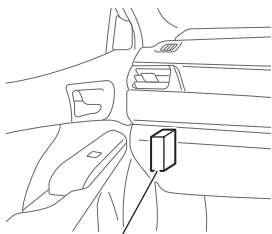
※ヒューズを交換した際もクッションテープを巻いてください。



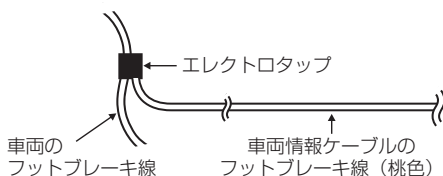
## フットブレーキ信号線の接続

ブレーキペダルを踏んで電圧が 12V (24V)、踏まないで 0V になる配線にエレクトロタップを使用し車両情報ケーブルのフットブレーキ信号線 (桃色) を接続します。

<取付例>



助手席側ジャンクションブロック



取付け

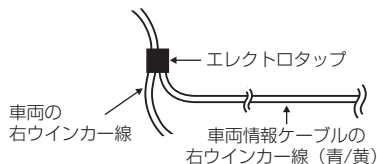
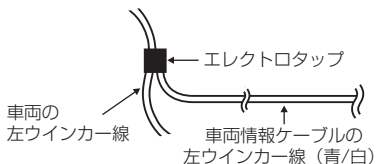
## 車速パルス信号線の接続

車両の車速信号線と車両情報ケーブルの車速パルス信号線 (紫色) をエレクトロタップを使用して接続します。



## ウインカー信号線の接続

車両のウインカーと連動し、12V ⇄ 0V (24V 車の場合は 24V ⇄ 0V) になる配線と、車両情報ケーブルの左ウインカー信号線 (青/白) と右ウインカー信号線 (青/黄) をエレクトロタップを使用して接続します。

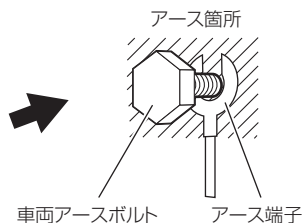
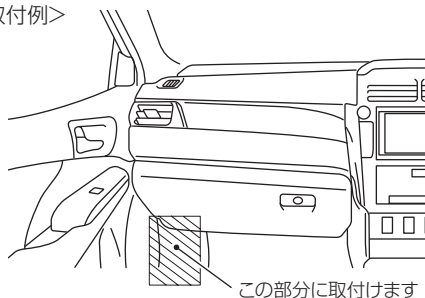


# 取付方法

## アース線を接続する

車両情報ケーブルのアース端子を車両アースボルトへ確実に共締めしてください。

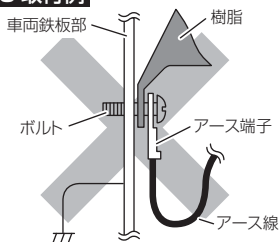
<取付例>



### ⚠ 注意

ボルトとアース線の間に樹脂などの絶縁体を挟まない。

#### NG 取付例





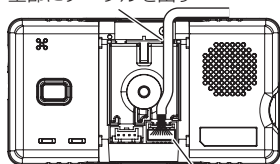
## メインカメラを取付ける

### メインカメラへ車両情報ケーブルを接続し、取付ステーを固定する

メインカメラの車両情報ケーブル接続コネクタへ車両情報ケーブルを接続し、取付けステーで固定します。

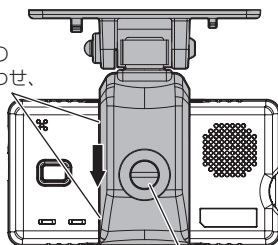
#### ■フロントガラスへ取付ける場合

ガイドに通し、  
上部にケーブルを出す



車両情報ケーブル  
接続コネクタ

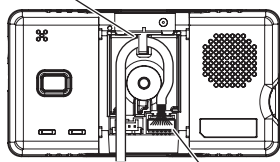
①取付ステーを  
メインカメラの  
切り欠きに合わせ、  
スライドする



②付属の取付けステー  
固定用ネジで固定する

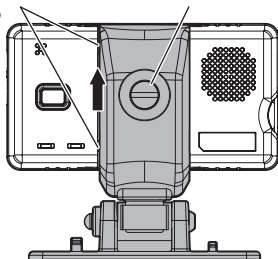
#### ■ダッシュボードへ取付ける場合

ガイドに通し、  
下部にケーブルを出す



車両情報ケーブル  
接続コネクタ

①取付ステーを  
メインカメラの  
切り欠きに合わせ、  
スライドする



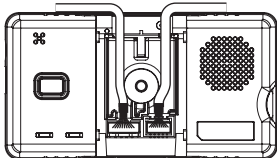
②付属の取付けステー  
固定用ネジで固定する

### アドバイス

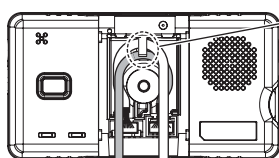
#### 外部通信機器を接続した場合

外部通信機器との接続ケーブルの取り回しは下記のように行なってください。

##### ■フロントガラスへ取付ける場合



##### ■ダッシュボードへ取付ける場合



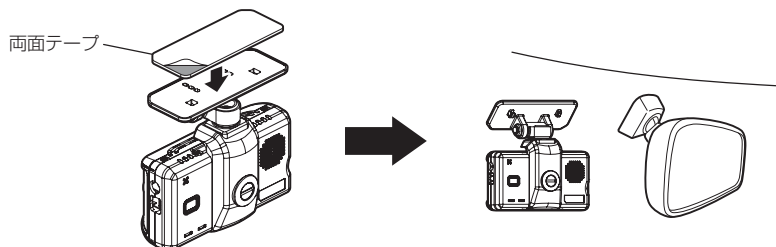
ガイド部は上下に  
ケーブルが並ぶように  
配線する

# 取付方法

## メインカメラをフロントガラスへ貼り付ける

※本書ではフロントガラスへの取付けを例に説明を行います。

- 1) 付属の脱脂クリーナーで取付ステーおよびフロントガラスを清掃し、良く乾かします。
- 2) 取付ステーに両面テープを貼付け、フロントガラスに貼付けます。

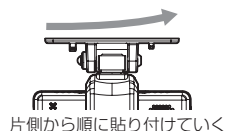


### ⚠ 注意

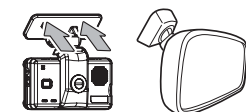
- 必ず付属の脱脂クリーナーで貼付面および取付ステーの汚れ（油分・水滴など）を清掃し、乾いてから取付けを行なってください。パーツクリーナー、ガラスクリーナーなどは絶対に使用しないでください。剥がれの原因となります。
- 一度貼付けた両面テープは粘着力が弱くなりますので貼り直しは絶対にしないでください。
- 取付け後両面テープがしっかり貼付くまで引っ張ったり無理な力を掛けないように注意してください。剥がれの原因となります。
- 両面テープの中央部が貼り付いていない場合など、両面テープ全体がフロントガラスまたはダッシュボードに貼り付いていないと剥がれることがあります。
- 10℃以下の気温が低い場合、両面テープの粘着力が弱くなります。ドライヤーなどで貼付面を暖めてから貼付けをしてください。またメインカメラに直接ドライヤーの熱が当たらないよう注意してください。

### 👉 アドバイス

- ステーを貼付ける際は片側から順に少しずつ貼付けると、空気が入りにくくきれいに貼れます。  
※一度に貼り付けると空気が入りやすくなり、ステーが剥がれやすくなります。
- 貼付面裏側のステー部を手でしっかり押さえて貼付けムラがないようにしてください。



片側から順に貼り付けていく

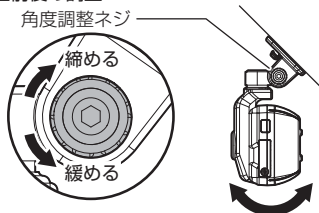


ステー貼付け面を裏側から押さえる。

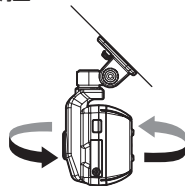
3) 付属の六角レンチでステーの角度調整ネジを緩めた状態で、メインカメラの取付角度を調整し、調整後にネジを締めます。

- ・メインカメラステー部をフロントガラスに仮あてし、メインカメラが地面と垂直になるように角度を調整してください。
- ・左右の角度調整はそのまま回して調整を行なってください。
- ・角度調整を容易に行なうため、取付ステーをフロントガラスへ貼り付ける前に角度調整を行なってください。

■前後の調整



■左右の調整



⚠ 注意

- ・必ず角度調整ネジを緩めた状態で角度調整を行なってください。破損の原因となります。
- ・エンジンスイッチが ACC (IG) の状態で角度調整を行うと、衝撃を検出したりスイッチを押してしまったりして映像を記録してしまうことがあるため、ご注意ください。
- ・ステー角度調整ネジを強く締めすぎると破損するおそれがありますのでご注意ください。
- ・角度調整後は角度調整ネジを確実に締めてください。緩いと走行中に外れるおそれがあります。
- ・カメラレンズに触れてしまうとレンズが曇り、記録した映像がぼやけてしまうため、取付ける際はレンズに触れないようご注意ください。
- ・定期的にネジの緩みがないか点検を行なってください。

# 取付方法

## 4) 車両情報ケーブルの配線の取回しを行なってください。

※運転の妨げにならないように、クッションテープやコードクランプなどを使用し、配線の取回しを行なってください。

※コードクランプはフロントガラスへは貼り付けしないでください。

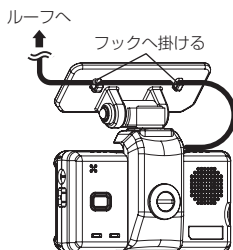
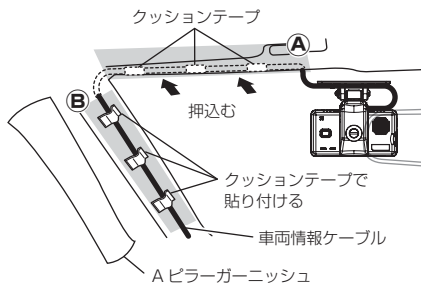
※地デジやETCなどのコードと一緒に束ねないようにしてください。

### ■フロントガラスへ取付けた場合

・①部は車両情報ケーブルにクッションテープを巻いてルーファイニング内に入れてください。

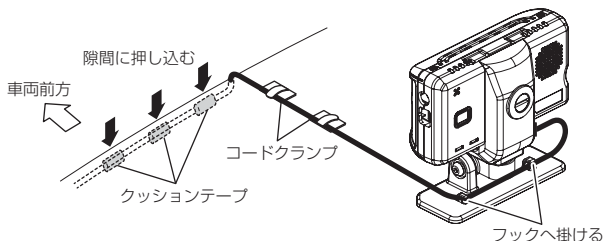
・②部はクッションテープでAピラーに貼り固定してください。

※カーテンエアバッグには固定しないでください。カーテンエアバッグ作動不良の恐れがあります。



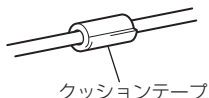
### ■ダッシュボードへ取付けた場合

車両情報ケーブルにクッションテープを巻き、フロントガラスとダッシュボードの隙間に押し込み、車両前方まではコードクランプでダッシュボードに固定します。



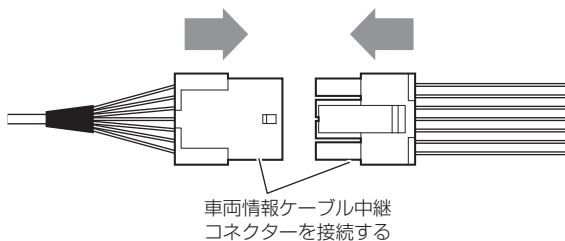
### 👉 アドバイス

必要に応じて車両情報ケーブルにクッションテープ(20mm × 40mm程度に切ったもの)を巻いて取回しを行なってください。



## 車両情報ケーブルの中継コネクタを接続する

取外した車両情報ケーブルの中継コネクタを接続します。



取付け

## 外した車両バッテリーの⊖（マイナス）端子を接続する

外した車両バッテリーの⊖（マイナス）端子を接続します。



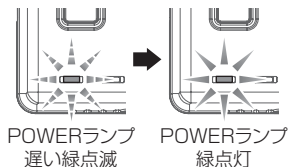
# 取付方法

## 取付け後の確認と設定

### 1. GPS の受信を確認する

エンジンスイッチを ACC(IG) にし、POWER ランプが遅い緑点滅から緑点灯になることを確認してください。

※ GPS 衛星が受信できる安全な場所で行なってください。



POWER ランプ	橙点灯	遅い緑点滅	緑点灯
メインカメラの状態	初期チェック中	正常録画中 GPS 未受信	正常録画中 GPS 受信

#### アドバイス

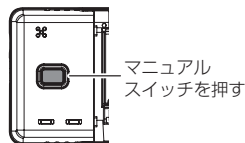
本製品を初めて使用する時や長時間使用しなかった場合、GPS 衛星を受信するまで5分程度時間がかかることがあります。

### 2. 車速パルスを設定する

GPS を受信後 (POWER ランプが緑点灯状態)、40km/h 以上の一定速度で、『ポーン♪ 車速パルスの設定が完了しました』とアナウンスがされるまで走行します。

### 3. マニュアルスイッチを押してマニュアル録画を記録する

音声が記録されるように、ラジオやオーディオの音を鳴らした状態でマニュアルスイッチを押して映像を記録してください。



#### アドバイス

音声録音機能の初期設定は「ON」です。設定で OFF にすることもできます。(⇒ P58)

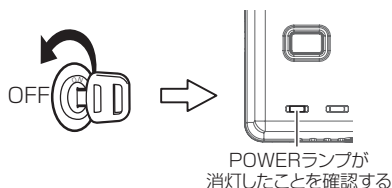
## 4. 各信号線の動作を確認する

車両へ接続した各信号線の動作を確認するため、下記の各車両操作を行なってください。

- ・左右のウインカーを点滅させる。
- ・フットブレーキを踏む。

## 5. エンジンスイッチを OFF にする

エンジンスイッチを OFF にし、POWER ランプが消灯したことを確認します。



### ⚠ 注意

- ・エンジンスイッチが ACC (IG) の状態で microSD カードの抜挿しを行わないでください。microSD カード破損の原因となります。必ず、エンジンスイッチを OFF 後 microSD カードのアクセスランプ (橙) が消灯したことを確認し、microSD カードの抜挿しを行なってください。



microSD カード  
アクセスランプ

- ・【駐車録画】設定を ON にしている場合は、P66 を参考に取り出しを行なってください。

## 6. 取付方向と記録した映像を確認する

パソコン用ビューワソフトを使用し、録画データを確認してください。(P41 ~ P45)

### 《確認内容》

- ・【常時録画】内にエンジンスイッチを ACC (IG) にした時からエンジンスイッチを OFF にした時までの映像が正常に記録されていること。
- ・【マニュアルイベント】内にスイッチ操作で記録した映像が正常に記録されていること。
- ・録画データに音声録音されていること。
- ・速度が表示されていること。
- ・ウインカーを点滅させた時点で、ウインカーアイコンが点滅すること。
- ・フットブレーキを踏んだ時点で、ブレーキアイコンが点灯すること。

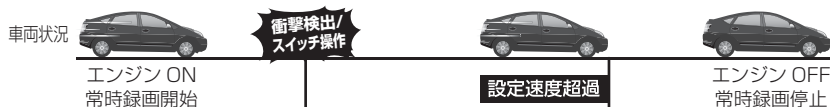
# 映像を撮る

## 映像の記録について

本製品の記録方法は「常時録画」と「イベント録画」があります。

※ 本製品は [画質設定] や使用する microSD カードの容量によって、1 ファイルあたりの記録時間が変わります。(⇒ P33)

### 車両状況



### 記録内容



- ・ 事故発生時の衝撃が弱い場合、衝撃による映像の記録ができない場合があります。その際は常時録画の映像をご確認ください。
- ・ 光や信号機自体の輝度が低いなどにより、信号機の色が識別できない場合があります。そのような場合は、前後の映像、周辺の車両状況から判断してください。
- ・ LED 式信号機を撮影すると、信号が点滅したような映像が記録されますが異常ではありません。これは LED 式信号機との同期対策のためで、記録映像において信号機の状態を確認できるようにしたものです。

### アドバイス

- ・ microSD カードの容量がいっぱいになると、常時録画 / イベント録画それぞれの録画領域の古いデータから上書きして新しいデータを記録します。
- ・ マニュアルスイッチ操作または衝撃による録画データ（イベントデータ）の保存中に、再度マニュアルスイッチ操作や衝撃を検出しても、新しいイベントデータを記録することはできません。
- ・ POWER ランプが橙点滅している場合は、映像を記録することはできません。音声アナウンスを確認後、各アナウンスに対する対処方法をご確認ください(⇒ P73,74)
- ・ 本製品は、重大な事故などで電源が遮断された場合でも記録中の録画データの破損を防ぎ保存を行う、バックアップ機能を搭載しています。



## 録画ファイルごとの記録時間について

- ・本製品は基本設定内の [画質設定] (⇒ P56) や使用する microSD カードの容量によって 1 ファイルあたりの記録時間が変わります。
- ・ [画質設定] と使用する microSD カードの容量による 1 ファイルの記録時間は以下の通りです。

画質設定	microSD カード容量	1 ファイルあたりの記録時間
高画質	32GB/64GB	1 ファイル / 1 分
	128GB	1 ファイル / 3 分
低画質	32GB/64GB/128GB	1 ファイル / 3 分

※ [画質設定] を【低画質】に設定した場合、microSD カードの容量に関わらず、1 ファイルあたりの記録時間は3分に固定されます。

 注意

- ・付属品以外の microSD カードを使用する際は必ずメインカメラで SD カードの初期化 (⇒ P73) を行なってください。
- ・付属品や別売オプション品以外の microSD カードの動作保証はいたしかねます。
- ・microSD カードは消耗品であり、1 日 2 時間程度使用する場合で約 2 ~ 3 年を目安に交換することをおすすめします。
- ・microSD カードの性質上、書き込み可能回数など製品寿命があります。

# 映像を撮る

## 常時録画について

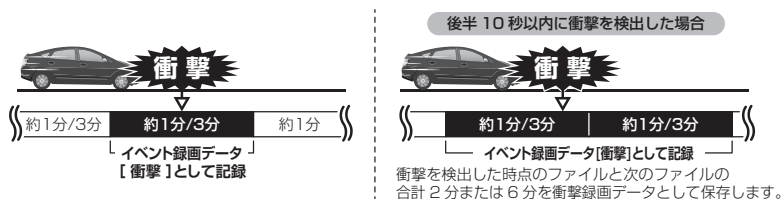
- ・エンジンを ON（エンジンスイッチを ACC または ON）にした後からエンジンを OFF（エンジンスイッチを OFF）にするまでを、1 つの常時録画データとして microSD カードに自動で記録を続けます。
- ・記録上限に達した場合、古い映像から順に消去し、新しい映像の記録を続けます。

## イベント録画について

- ・イベント録画には以下の 3 種類の録画方式があります。
  - [衝撃録画] ..... 衝撃を検出した時点のデータを記録
  - [マニュアル録画] .... マニュアルスイッチ操作した時点のデータを記録
  - [速度超過録画] .....【車速アラーム】で設定した車速を超過した時点のデータを記録
- ・記録上限に達した場合、古い映像から順に消去し、新しい映像の記録を続けます。
- ・本製品は [画質設定] や使用する microSD カードの容量によって、1 ファイルあたりの記録時間が変わります。(⇒ P33)

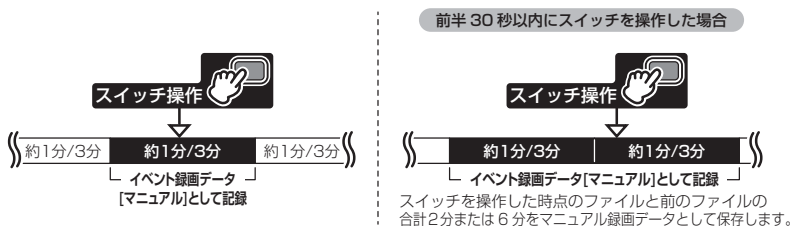
### ■ 衝撃録画データ

- ・メインカメラ内蔵の G センサーが設定値以上の衝撃を検出すると、衝撃を検出した時点のファイルを『衝撃録画データ』として記録します。
- ・ただし 1 ファイルの前半 30 秒以内または後半 10 秒以内に、衝撃を検出した場合、前もしくは後のデータも『衝撃録画データ』として記録されます。
- ・衝撃感度は設定により感度調整できます。(⇒ P56)



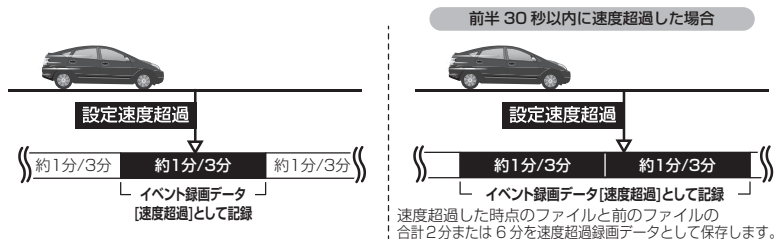
## ■マニュアル録画データ

- ・メインカメラのマニュアルスイッチを押すと、スイッチを操作した時点のファイルを『マニュアル録画データ』として記録します。
- ・ただし1ファイルの前半30秒以内または後半10秒以内に、スイッチ操作を検出した場合、前もしくは後のデータも『マニュアル録画データ』として記録されます。



## ■速度超過録画データ

- ・【速度超過イベント】設定 (⇒ P56) を ON にし、【車速アラーム】設定 (⇒ P60) で設定した車速を超過すると、速度超過した時点のファイルを『速度超過録画データ』として記録します。
- ・ただし1ファイルの前半30秒以内または後半10秒以内に、速度超過した場合、前もしくは後のデータも『速度超過録画データ』として記録されます。



## ■イベント録画の録画件数について

イベント種類	最大ファイル数 (最低イベント件数)
衝撃録画	60件 (30件)
マニュアル録画	6件 (3件)
速度超過録画	6件 (3件)

# 映像を撮る

## 駐車録画について

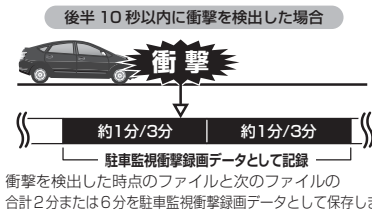
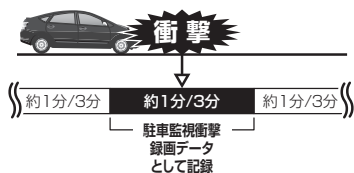
- ・本製品はエンジンスイッチ OFF 後も電源供給を行い、録画を行うことができる駐車録画機能を搭載しています。
  - ・車両バッテリー電圧が [ 停止電圧設定 ] で設定した電圧以下に低下した場合、駐車録画を停止します。
  - ・オプションカメラを接続状態で駐車監視モード中に録画する場合は [ サブカメラ ( 駐車 ) ] 設定を【ON】にしてください。 [ サブカメラ ( 駐車 ) ] を【OFF】に設定していると駐車録画モード中は記録を行いません。(⇒ P68)
  - ・サブカメラをバックカメラとして接続している場合、駐車中は車両から電源供給ができないため [ サブカメラ ( 駐車 ) ] を【ON】にしても記録されません。あらかじめご了承ください。
- ※ 本製品は [ 画質設定 ] や使用する microSD カードの容量によって、1 ファイルあたりの記録時間が変わります。(⇒ P33)

### ■ 駐車常時録画データ

[ 駐車録画時間設定 ] で設定した時間の間、録画を続けます。

### ■ 駐車衝撃録画データ

- ・駐車録画中に本製品内蔵の G センサーが設定値以上の衝撃を検出すると、衝撃を検出した時点のファイルを『駐車監視衝撃録画』として記録します。
- ・駐車録画中の衝撃感度は設定により [ OFF / 敏感 / やや敏感 / 通常 / やや鈍感 / 鈍感 ] の 6 段階で感度調整できます。(⇒ P69)



## 各設定による記録時間の目安

記録時間は録画サイズ設定、画質設定、フレームレート設定により変動します。またサブカメラの有無、サブカメラのフレームレート設定によっても変動します。下表を参考にしてください。(下表は常時録画およびイベント録画を含めた値です)

※ 本製品付属 microSD カード：64GB (Class 10)

※ 太枠は初期設定での記録時間を示します。

※ 本製品の初期設定は録画サイズが【HD】、フレームレートが【16fps】、画質が【高画質】に設定されています。

※ 記録時間はあくまで参考値です。映像の明暗により記録時間は異なります。

メインカメラ			サブカメラ	サブカメラ フレームレート	記録時間	
録画サイズ	フレームレート	画質				
FullHD (1920x1080)	27.5fps	高画質	OFF	—	約 600 分	
			ON	29.97fps/11fps 5.5fps	約 360 分 約 410 分	
		低画質	OFF	—	約 805 分	
			ON	29.97fps/11fps 5.5fps	約 515 分 約 630 分	
	16fps	高画質	OFF	—	約 670 分	
			ON	29.97fps/11fps 5.5fps	約 385 分 約 440 分	
		低画質	OFF	—	約 905 分	
			ON	29.97fps/11fps 5.5fps	約 555 分 約 690 分	
	HD (1280x720)	27.5fps	高画質	OFF	—	約 900 分
				ON	29.97fps/11fps 5.5fps	約 455 分 約 530 分
			低画質	OFF	—	約 1450 分
				ON	29.97fps/11fps 5.5fps	約 725 分 約 965 分
16fps		高画質	OFF	—	<b>約 1010 分</b>	
			ON	29.97fps/11fps 5.5fps	約 480 分 約 565 分	
		低画質	OFF	—	約 1610 分	
			ON	29.97fps/11fps 5.5fps	約 765 分 約 1035 分	
ロング (848x480)		27.5fps	高画質	OFF	—	約 1630 分
				ON	29.97fps/11fps 5.5fps	約 585 分 約 720 分
			低画質	OFF	—	約 2310 分
				ON	29.97fps/11fps 5.5fps	約 890 分 約 1290 分
	16fps	高画質	OFF	—	約 2020 分	
			ON	29.97fps/11fps 5.5fps	約 630 分 約 790 分	
		低画質	OFF	—	約 3825 分	
			ON	29.97fps/11fps 5.5fps	約 1055 分 約 1655 分	

# 映像を撮る

- ※ サブカメラフレームレート 29.97fps はバックカメラ接続時専用の設定です。29.97fps 設定でオプションカメラを接続した場合は 11fps として記録されます。なお駐車中のバックカメラ映像は車両からの電源供給ができないため、記録できません。
- ※ [駐車録画] 設定 (⇒ P68) を【ON】にしている場合、[駐車録画時間] 設定 (⇒ P69) の設定内容に応じて、記載の記録時間より短くなります。
- ※ 市販品の microSD カードを使用する場合は、必ずメインカメラで動作することを確認のうえ、ご使用ください。なお、動作や保存などの保証はいたしかねますので、あらかじめご了承ください。
- ※ 使用する microSD カードによっては録画時間が異なる場合があります。

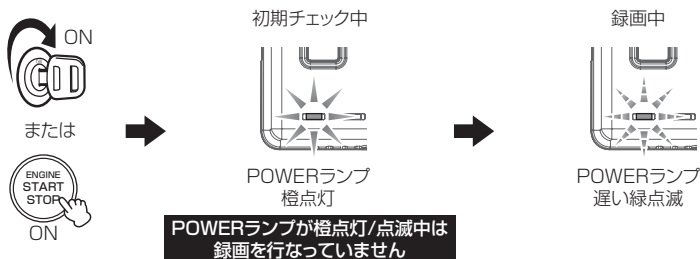
## 注意

- 付属品以外の microSD カードを使用する際は、必ず起動時のアナウンスに従いメインカメラで SD カードのフォーマット (⇒ P73) を行なってください。
- 付属品以外の microSD カードの動作保証はいたしかねます。
- microSD カードは消耗品であり、1 日 2 時間程度使用する場合で約 2 ~ 3 年を目安に交換することをおすすめします。
- microSD カードの性質上、書き込み可能回数など製品寿命があります。

## 電源を ON にする

エンジンスイッチを ACC または ON にしてください。POWER ランプが  
 橙点灯から遅い緑点滅に変わり録画が開始されます。

※ GPS 衛星を受信すると POWER ランプは緑点滅から緑点灯に変わります。

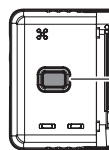


### アドバイス

前回終了時に正常に録画データの保存が行われなかった場合、起動時に録画データの修復処理が自動で行われます。修復処理中は POWER ランプが橙点灯した状態で『録画データを修復しています』というアナウンスを行います。

## マニュアル録画について

録画中にマニュアルスイッチを押すと、POWER ランプが早い緑点滅に変わり『マニュアル録画データ』として記録を行います。

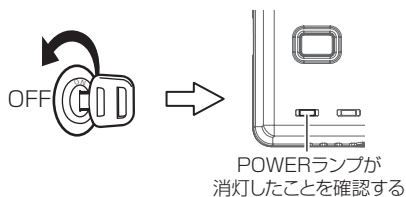


マニュアル  
 スイッチを押す

# 映像を撮る

## 電源を OFF にする

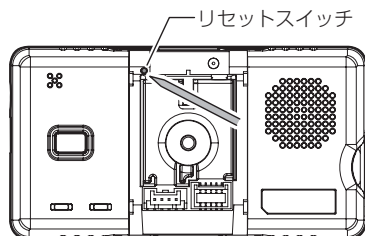
エンジンスイッチを OFF にしてください。



## リセットスイッチについて

メインカメラが動作しなくなったり、誤動作を起こした際はメインカメラのリセットスイッチを先の細い物で押して、システムを再起動してください。

※ リセットスイッチを押しても、設定や記録された映像は消去されません。





## パソコンで映像を再生する

### ビューワソフトを使用する前に

以下サイト (<https://www.denso-solution.com/d-navi/product/comPro5/>) に記載の手順に従い、ビューワソフトをダウンロードおよびインストールします。

COM-  
PROV  
Viewer

#### ■動作環境

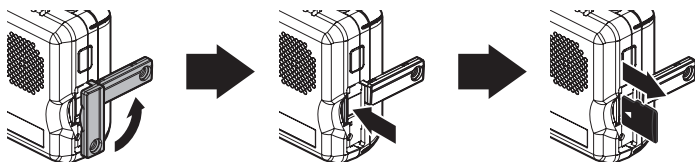
対応 OS	Windows 10 / 11 専用
メモリ	8GB 以上推奨
HDD 空き容量	4GB 以上 (microSD カードと同容量以上を推奨)

※ Google マップを表示する場合はインターネット接続が必要となります。

### ビューワソフトを使用する

- 1) エンジンスイッチを OFF 後 microSD カードカバーを開け、microSD カードのアクセスランプ（橙）が消灯したことを確認し、microSD カードを取り出します。

- ・ microSD カードを取り出すときは、一度 microSD カードを軽く押し込み、少し飛び出してから引き抜いてください。
- ・ 挿入するときは、「カチッ」と音が鳴るまで挿し込んでください。



カバーを引き出し、横へ倒す。

microSD カードを軽く押し込み、

少し飛び出してきたら引き抜く。

- 2) カードリーダーなどを使用し、パソコンへ挿入します。

※ microSD カードに対応していないカードリーダーの場合、パソコンがカードを認識できません。

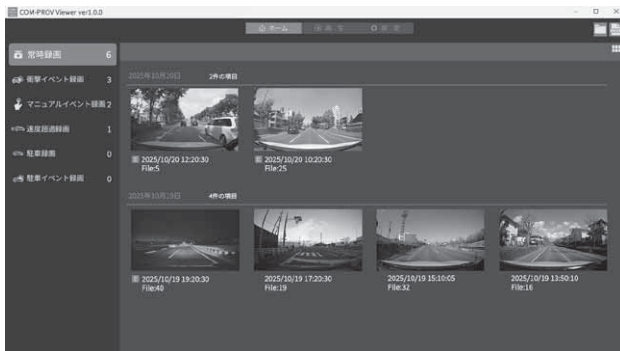


#### ⚠ 注意

- ・ microSD カードを取り出す際はエアコン吹き出し口などに落とさないように気を付けてください。
- ・ microSD カード内のデータを直接加工（切り取りや貼り付けなど）しないでください。データが正常に読み取れなくなるおそれがあります。

# 映像を見る

3) インストールしたビューワソフトを起動します。



4) 確認したい映像をクリックすると再生画面に切替わり、再生が始まります。

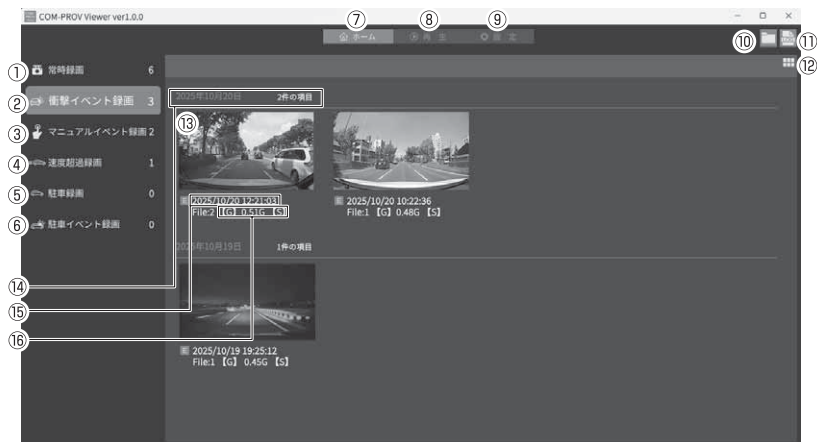


## 👉 アドバイス

- ・映像の読込中は、再生している映像がなめらかに再生されないことがあります。読み込みが終了しても改善されない場合は、Google マップを非表示にして改善されるか確認してください。
- ・GPSの受信状況により走行軌跡が、地図上の道路からズレることがあります。あらかじめご了承ください。
- ・ビューワソフトで変換される動画データをパソコンで再生する場合、QuickTimeなどで再生することができます。
- ・速度表示が実際の速度と大きく異なる場合は、設定画面より車速パルスの設定を行なってください。(⇒P58)
- ・ブレーキおよび左右のウインカーの作動状態が表示されない場合は、車両への接続を確認してください。(⇒P18,P21～P24)

## ■ホーム画面

表示例) 衝撃イベント画面



① 常時録画データの一覧を表示	⑪ 運行データとイベントデータ出力または 運転日報の出力を行なう (⇒ P46 ~ 49)
② 衝撃により保存されたイベントデータの一覧を表示	⑫ ビューソフトの各種表示機能の設定を行うサムネイルサイズ...⑬のサムネイルサイズを(小/中/大/特大)から選択 表示モード.....サムネイルを表示する順番を(運行順に表示/日付ごとに表示)から選択する カラーモード.....ビューソフトの表示画面を(ダークモード/ライトモード)から選択する
③ スイッチ操作により保存されたイベントデータの一覧を表示	
④ 速度超過により保存されたイベントデータの一覧を表示	
⑤ 駐車録画モード時に保存された常時録画データの一覧を表示	
⑥ 駐車録画モード時に保存された衝撃録画データの一覧を表示	
⑦ 本製品で録画した録画データ一覧を表示	⑬ 録画データの先頭部分をサムネイルとして表示
⑧ 再生画面を表示 ※録画データが選択されていない場合は表示されません。	⑭ 録画データの撮影日と録画データの総件数を表示
⑨ 設定画面を表示	⑮ 録画データのそれぞれの撮影日時を表示
⑩ ビューソフトで表示する、録画データの参照先を変更する	⑯ 録画データのイベント検出した時点の情報を表示

# 映像を見る

## 再生画面



### ⚠ 注意

映像の再生中に microSD カードをパソコンから取り出すとビューソフトが正常に終了しなくなります。必ずビューソフトを終了させてから microSD カードの取り出しを行ってください。

### 👉 アドバイス

- ・ ⑳は駐車録画モードの乗車キャンセル時間内に検出された衝撃も、駐車常時録画データで再生時はアイコン表示されます。
- ・ ㉑はデータ読み込み中、橙色文字で表示します。

①	メインカメラの再生データを表示	②②	各項目をクリックすることで加速度グラフ表示を ON/OFF する 【X】.....X 軸（前後）の ON/OFF 【Y】.....Y 軸（左右）の ON/OFF 【Z】.....Z 軸（上下）の ON/OFF 【C】.....C 軸（合成値）の ON/OFF
②	インターネット接続時、Google マップを表示 ※ GPS 受信時のみ自車位置を表示		
③	サブ画面表示。サブカメラの録画映像を表示 ※サブカメラ接続時のみ表示		
④	現在のトラックの再生時間 / 総時間を表示	②③	各種検知アイコンを表示 【G】.....トリガ（衝撃）を検出した場所 【M】.....トリガ（手動スイッチ）を検出した場所 【T】.....長時間運転を検出した場所 【▲】.....急加速を検出した場所 【▼】.....急減速を検出した場所 【#】.....速度超過運転を検出した場所
⑤	再生データの先頭に戻る		
⑥	再生を始める ※再生中は一時停止ボタンに切替わる		
⑦	次のトラックに進む		
⑧	コマ送りする※再生中のみ		
⑨	早送りする※再生中のみ		
⑩	再生速度を表示	②④	表示するサムネイルのページを選択する
⑪	①の表示エリアを拡大 / 縮小する		ビューワソフトの各種表示機能の設定を行う 地図表示.....地図の表示を (ON/OFF) から選択する 表示モード.....リスト表示: ⑥のサムネイルを表示しない サムネイル表示: ⑥のサムネイルを表示する 表示数.....⑥ / ⑦ / ⑧ / ⑨の表示数を (10/20/30/50/100) から選択する すべて選択.....各再生データをすべて選択する すべて選択解除...各再生データをすべて選択解除する
⑫	【スナップショット】 ボタン メイン画面に表示された映像の静止画 (png) を 1 枚のみ保存する ※一時停止中のみ表示		
⑬	メインカメラ / サブカメラの表示エリアを切り替える		
⑭	再生データの録画日時 / トラック数を表示		
⑮	再生データのファイル名を表示	②⑥	各再生データごとの先頭部分をサムネイルとして表示
⑯	再生データのフレームレート / 録画サイズを表示	②⑦	映像出力したい各再生データを選択する
⑰	GPS の受信・未受信を表示		録画ファイルのイベントデータ種別をアイコンで表示 【G】.....トリガ（衝撃）を検出したイベントデータ 【M】.....トリガ（手動スイッチ）を検出したイベントデータ 【S】.....速度超過運転を検出したイベントデータ ※各イベントの優先度 (M > S > G) の高いアイコンを 1 つのみ表示
⑱	音声の有無を表示		
⑲	ウインカー、ブレーキの ON/OFF を表示		
⑳	速度表示		②⑨
㉑	X / Y / Z 各軸の加速度値を表示	③⑩	②⑦で選択した映像を出力する

# 映像を見る

## 運行データとイベントデータを出力する

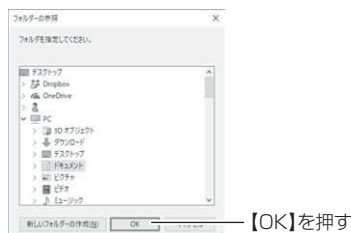
記録されたデータを基に、[運行データ] / [駐車録画データ] / [イベントデータ] / [駐車録画イベントデータ] を CSV に出力することができます。

### 各データを出力する

- 1) ビューソフトのホーム画面 (⇒ P43) 上の①【ログ】ボタンを押し、「運行データとイベントデータを出力する」を選択し、【決定】を押す。



- 2) 出力される CSV ファイルを保存するフォルダーを指定し、【OK】を押す。



## 各データで出力される情報

### 《運行データ》

保存情報	記録内容
エンジンスイッチを ACC(IG) にした時刻	年月日 時分秒
エンジンスイッチを OFF にした時刻	年月日 時分秒
エンジンスイッチ ACC(IG) から OFF までの走行距離	0 ~ 9999.9km
エンジンスイッチ ACC(IG) から OFF までのアイドリング時間	00:00:00 ~ 99:59:59
エンジンスイッチ ACC(IG) から OFF の間に発生した速度超過時間	00:00:00 ~ 99:59:59
エンジンスイッチ ACC(IG) から OFF の間に発生した速度超過回数	000 ~ 999 回
エンジンスイッチ ACC(IG) から OFF の間に発生した衝撃トリガの回数	000 ~ 999 回
エンジンスイッチ ACC(IG) から OFF の間に発生したスイッチトリガの回数	000 ~ 999 回

## 《駐車録画データ》

保存情報	記録内容
駐車録画を開始した時刻	年月日 時分秒
駐車録画を終了した時刻	年月日 時分秒
駐車録画の終了理由	設定時間経過など
駐車録画中に発生した衝撃トリガの回数	000 ~ 999 回

## 《イベントデータ / 駐車録画イベントデータ》

保存情報	記録内容	備考
発生種別	トリガの種類を表示	衝撃検出 / 手動スイッチ / 速度超過
発生時刻	年月日時分秒	表示例) 2024/10/30 10:00:00
発生場所	緯度	N ***.***** 表示例) 035.108739 ※駐車録画イベントデータにはありません
	経度	E ***.***** 表示例) 137.100304 ※駐車録画イベントデータにはありません
発生時 加速度	前後	-9.99 ~ +9.99G 後ろ（加速側）を正とする
	左右	-9.99 ~ +9.99G 右側を正とする
	上下	-9.99 ~ +9.99G 上側を正とする
	合成	0 ~ +9.99G 表示例) 0.06
発生時速度	000 ~ 999km/h 表示例) 80km/h ※駐車録画イベントデータにはありません	

※ 駐車録画イベントデータでは [乗車キャンセル時間設定] の設定時間内に検出した衝撃も記録されます。

## CSV ファイル名 (例)

「2024/10/30 12:34:56」に CSV ボタンを押して出力した場合、

運行データ : Dv\_241030\_123456

イベントデータ : Ev\_241030\_123456

駐車録画データ : Pa\_241030\_123456

駐車録画イベントデータ : Pe\_241030\_123456

となります。

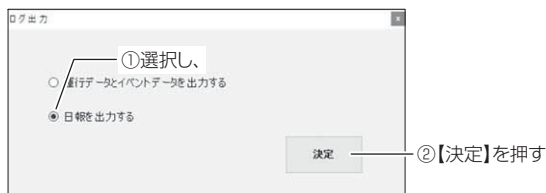
# 映像を見る

## 運転日報を出力する

記録されたデータを基に、[運転日報] を作成することができます。

### 運転日報を出力する

- 1) ビューソフトのホーム画面 (⇒ P43) 上の①【ログ】 ボタンを押し、「日報を出力する」を選択し、【決定】 を押す。



- 2) 運転日報作成画面が表示されるので、出力を行いたい日付を選択し、各種情報を記入する。

### ■運転日報作成画面

日付を選択し、【検索】を押す

各種情報を記入する  
※営業所名、運転者、車両に関しては【編集】から入力することでプルダウンリストから選択できます

運転日報作成

2024年 1月 1日 検索

会社名 株式会社○○

営業所名 ○○営業所

運転者 運転者A

車両 営業車A

No.	作業項目	到着時間	出発時間	作業時間	メモ	運行料	走行距離
	開始		18:00				0.0
			18:04	18:30			0.0
			19:11	19:40			0.0
			20:13	21:08			0.0
	終了		21:30				0.0

日報作成

追加 削除

### ■項目編集画面

項目欄へ内容を記入する

【追加】を押すことで複数入力できる

営業所名 項目編集

No.	項目
	○○営業所

閉じる

追加 削除 オールクリア

入力後、【閉じる】を押すと内容が反映され、[運転日報作成画面]のプルダウンリストから選択できる





# 映像を見る

## パソコンで録画データを保存する

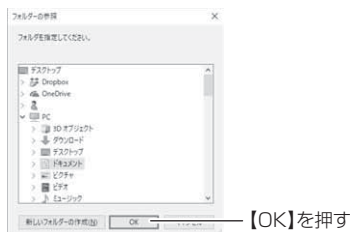
ビューワソフトの【映像出力】ボタンまたは【スナップショット】ボタンを押すことで、録画データを動画または静止画で保存することができます。

### 録画データを動画で保存する

- 1) ビューワソフトの保存したいファイルにチェックマークを入れ【映像出力】ボタンを押す。



- 2) 動画を保存するフォルダーを指定し、【OK】を押す。



### 録画データを静止画で保存する

ビューワソフトの【スナップショット】ボタンを押すと、デスクトップへ静止画が保存されます。



メイン画面に表示された映像の静止画がパソコンのデスクトップへ保存される

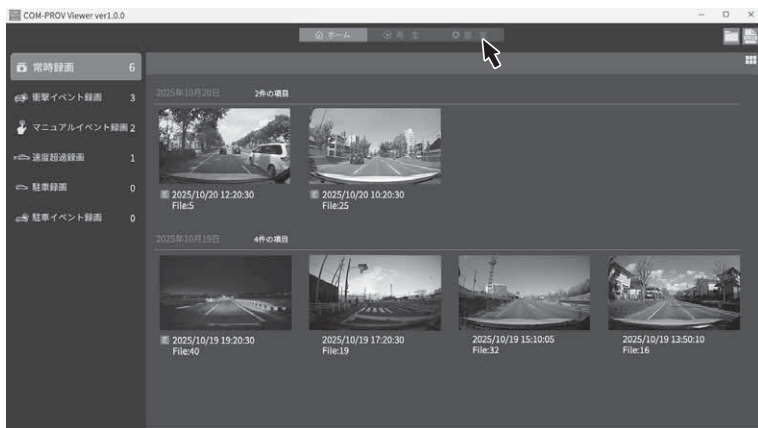
## 設定を変更する

本製品の各設定は、ビューソフトを使用して変更することができます。

### ビューソフトでの設定方法

例：マニュアルイベントを【OFF】に設定変更するには・・・

1. ビューソフトを起動した上で、『設定』を選択する。



2. 『設定』画面内の『マニュアルイベント』を【OFF】にする。

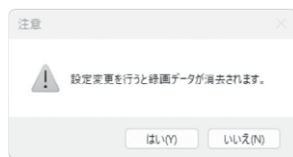


# 設定

## 3. 『設定変更』ボタンを選択する。



4. 確認画面が表示されるので設定を変更する場合は『はい』を選択する。  
※設定する項目 (⇒ P53 ~ P55) によって、録画データが消去されるため、必ず必要な録画データをパソコンに保存するなど、データのバックアップを行なってください。(⇒ P50)



5. 設定を行なった microSD カードをメインカメラに挿入し、エンジンスイッチを ACC (IG) にすることによって本製品に設定が反映されます。

## 設定一覧

表内設定値の【太字】は初期設定です。  
表内項目にある【\*】は録画データが消去される設定項目です。

## 基本設定一覧

項目	設定内容	参照ページ	備考
マニュアルイベント*	OFF/ <b>【ON】</b>	P56	
衝撃イベント*	OFF/ <b>【ON】</b>		
速度超過イベント*	<b>【OFF】</b> /ON		
衝撃感度	0.1 ~ <b>【0.4G】</b> ~ 1.0G / OFF		敏感 (0.1G) ~鈍感 (1.0G)
メインカメラ 画像サイズ*	FullHD / <b>【HD】</b> / ロング		
メインカメラ フレームレート*	27.5fps / <b>【16fps】</b>		
画質*	<b>【高画質】</b> / 低画質		
画像補正	<b>【HDR】</b> / WDR	P57	
輝度	明るい / <b>【標準】</b> / 暗い		
サブカメラ フレームレート*	29.97fps / <b>【11fps】</b> / 5.5fps / 1fps		
バックカメラ 上下反転	<b>【反転なし】</b> / 反転あり	P58	
バックカメラ 左右反転	<b>【反転なし】</b> / 反転あり		
サブカメラ*	<b>【OFF】</b> /ON		
音声録音	OFF/ <b>【ON】</b>		
音量	OFF/1 ~ <b>【5】</b> ~ 10		
車速パルス	GPS/2/4/6/8/16/20/25/ <b>【AUTO】</b>		

# 設定

## メンテナンス設定一覧

項目	設定内容	参照ページ	備考
オイル交換	<b>[OFF]</b> / 1000km ~ 9000km	P59	500km 単位
走行距離	走行距離を表示		『クリア』で距離をリセット
12ヶ月点検	<b>[OFF]</b> / 1月 ~ 12月		1ヶ月単位
長時間運転報知	<b>[OFF]</b> / ON	P60	
GPS アナウンス	<b>[OFF]</b> / ON		
車速アラーム	<b>[OFF]</b> / 10km/h ~ 120km/h		10km/h 単位
エコモード	<b>[OFF]</b> / ON	P61,62	

## 駐車監視設定一覧

項目	設定内容	参照ページ	備考
駐車録画 *	<b>[OFF]</b> / ON	P68	
メインカメラ 画像サイズ (駐車) *	FullHD / <b>[HD]</b> / ロング		
メインカメラ フレームレート (駐車) *	27.5fps / <b>[16fps]</b>		
サブカメラ フレームレート (駐車) *	<b>[11fps]</b> / 5.5fps / 1fps		
サブカメラ (駐車) *	<b>[OFF]</b> / ON		
音声録音 (駐車)	OFF / <b>[ON]</b>		
衝撃感度 (駐車)	OFF / 鈍感 / やや鈍感 / <b>[通常]</b> / やや敏感 / 敏感	P69	
降車キャンセル時間	OFF / 30 秒間 / <b>[1 分間]</b> / 3 分間		
乗車キャンセル時間	OFF / 30 秒間 / <b>[1 分間]</b> / 3 分間		
駐車録画時間	<b>[1 時間]</b> / 2 時間		

項目	設定内容		参照ページ	備考
停止電圧 (駐車)	12V 車	11.6V/11.8V/ <b>[12.0V]</b> / 12.2V/12.4V	P70	
	24V 車	23.2V/23.6V/ <b>[24.0V]</b> / 24.4V/24.8V		
駐車録画領域 *	<b>[20%]</b> / 50%			

## その他設定一覧

項目	設定内容	参照ページ	備考
SD 名称	入力した内容を SD カードの名称として保存し、ビューワソフト上に表示されます。車種やナンバーなどを入力し microSD カードの管理にご使用ください。		ビューワソフトのみ
本体ソフトバージョン	—	—	

# 設定

## 基本設定

### マニュアルイベント設定 ※設定を変更すると録画データが消去されます。

- ・メインカメラのスイッチ操作によるマニュアル録画の記録を行うかの [OFF / ON] を設定できます。
- ・お買い上げ時は【ON】に設定されています。

### 衝撃イベント設定 ※設定を変更すると録画データが消去されます。

- ・衝撃検出時の衝撃録画の記録を行うかの [OFF / ON] を設定できます。
- ・お買い上げ時は【ON】に設定されています。

### 速度超過イベント設定 ※設定を変更すると録画データが消去されます。

- ・本設定を【ON】に設定すると、[車速アラーム設定] で設定した速度を超えた時点のファイルを『速度超過イベントデータ』として記録します。
- ・お買い上げ時は【OFF】に設定されています。

### 衝撃感度設定

- ・衝撃を検出する感度を [0.1G / 0.2G / 0.3G / 0.35G / 0.4G / 0.45G / 0.5G / 0.55G / 0.6G / 0.7G / 0.8G / 0.9G / 1.0G / OFF] から選択できます。
- ・お買い上げ時は【0.4G】に設定されています。

### メインカメラ画像サイズ設定 ※設定を変更すると録画データが消去されます。

- ・メインカメラの記録映像サイズを [FullHD / HD / ロング] から選択できます。
- ・お買い上げ時は【HD】に設定されています。

### メインカメラフレームレート設定 ※設定を変更すると録画データが消去されます。

- ・メインカメラのフレームレートを [27.5fps / 16fps] から選択できます。
- ・お買い上げ時は【16fps】に設定されています。

### 画質設定 ※設定を変更すると録画データが消去されます。

- ・記録する映像の画質を [高画質 / 低画質] から選択することができます。
- ・お買い上げ時は【高画質】に設定されています。
- ※ [画質設定] を【低画質】に設定した場合、microSD カードの容量に関わらず、1ファイルあたりの記録時間は3分に固定されます。(⇒ P33)



## 画像補正設定

- ・本製品には画像補正機能として、HDR（ハイ・ダイナミック・レンジ）機能およびWDR（ワイド・ダイナミック・レンジ）機能を搭載しています。
- ・HDR機能またはWDR機能を使用することで白とびや黒つぶれを補正した録画データを記録することができます。

[HDR] ..... 画像補正により、鮮明な映像を記録します。

[WDR] ..... 画像補正により、HDR機能より鮮明さは低くなりますが、より自然な色味で映像を記録します。

- ・HDR機能を使用すると撮影条件によって一部の画像が二重に重なって記録される場合があります。
- ・お買い上げ時は【HDR】に設定されています。

### 👉 アドバイス

#### 白とび / 黒つぶれとは

白とび……… 明るい部分が真っ白に映っている様子を言います。

黒つぶれ……… 暗い部分が真っ黒に映っている様子を言います。

## 輝度設定

- ・撮影映像の明るさを [明るい / 標準 / 暗い] から選択することができます。
- ・お買い上げ時は【標準】に設定されています。

## サブカメラフレームレート設定 ※設定を変更すると録画データが消去されます。

- ・オプションカメラやバックカメラのフレームレートを [1fps / 5.5fps / 11fps / 29.97fps (バックカメラ限定)] から選択できます。
- ・設定の【29.97fps (バックカメラ限定)】はバックカメラを接続した場合にのみ動作します。オプションカメラ接続時は【11fps】で動作します。あらかじめご了承ください。
- ・お買い上げ時は【11fps】に設定されています。

## バックカメラ上下反転設定

- ・サブカメラとしてバックカメラを接続して撮影する映像の上下方向を [反転なし / 反転あり] から選択することができます。
- ・設置場所により [反転なし / 反転あり] を変更してください。
- ・お買い上げ時は【反転なし】に設定されています。

# 設定

## バックカメラ左右反転設定

- ・サブカメラとしてバックカメラを接続して撮影する映像の左右方向を [反転なし / 反転あり] から選択することができます。
- ・設置場所により [反転なし / 反転あり] を変更してください。
- ・お買い上げ時は【反転なし】に設定されています。

## サブカメラ設定 ※設定を変更すると録画データが消去されます。

- ・サブカメラとしてオプションカメラやバックカメラを使用するかを [OFF / ON] から選択できます。
- ・オプションカメラやバックカメラを接続する場合は [ON] に変更してください。
- ・お買い上げ時は【OFF】に設定されています。

### アドバイス

設定を【OFF】の状態でもオプションカメラやバックカメラを接続した場合、SDカードのフォーマットを行ない、サブカメラ設定が【ON】に変更されます。

## 音声録音設定

- ・記録する映像に音声の録音を行うかの [OFF / ON] を設定できます。
- ・お買い上げ時は【ON】に設定されています。

## 音量設定

- ・メインカメラの確認音や各アナウンスの音量を [OFF / 1 ~ 10] の 11 段階から選択することができます。
  - ・お買い上げ時は【5】に設定されています。
- ※ 音量を OFF に設定してもメッセージ音はお知らせします。

## 車速パルス設定

- ・車両から出力される車速パルス信号の設定を [GPS / 2 / 4 / 6 / 8 / 16 / 20 / 25 / AUTO] から選択できます。
- ・【GPS】に設定すると、車両からの信号を使用せず、本製品の GPS 情報により車速を取得します。
- ・【AUTO】に設定すると、GPS 情報と車両からの信号により車速パルスの値を設定します。
- ・お買い上げ時は【AUTO】に設定されています。

### アドバイス

[AUTO] に設定している場合、ビューソフト設定画面の [車速パルス判定値] で、自動判定した車速パルス数が表示されます。なお、未判定の場合は【未確定】と表示されます。

## メンテナンス設定

### オイル交換設定

- ・設定した月や走行距離になったあと、次回起動時にアナウンスを行います。
- ・お買い上げ時は【OFF】に設定されています。

#### ■オイル交換のお知らせ

設定画面で [1000km ~ 9000km (500km 単位)] から選択し設定すると、設定した距離を走行後、次回起動時にオイル交換を促すアナウンスを行います。

例) 3000km に設定した場合



#### 👉 アドバイス

オイル交換終了後、設定画面で【クリア】を行うことで、再度設定した距離を走行後オイル交換のアナウンスを行います。

### 走行距離設定

【クリア】を押すことでオイル交換のお知らせまでの距離を初期化することができます。

### 12ヶ月点検設定

- ・設定画面で [1月 ~ 12月] から選択し設定することで、設定した月になると車両点検を促すアナウンスを行います。
- ・お買い上げ時は【OFF】に設定されています。

「ポーン♪ 車両点検の時期になりました。」

# 設定

## 長時間運転報知設定

---

- ・連続で 2 時間運転を行なった時に下記アナウンスを行います。
- ・設定は [OFF / ON] から選択できます。
- ・お買い上げ時は【OFF】に設定されています。

「ポーン♪ 運転時間が 2 時間になりました。」

## GPS アナウンス設定

---

- ・本設定を【ON】にすると事故多発ポイントや速度監視路線など、事故の多い地点を通過する前に注意を促すアナウンスを行います。  
※ ポイントの追加および更新を行うことはできません。
- ・お買い上げ時は【OFF】に設定されています。

### ■事故多発ポイント

事故多発ポイントとして登録されている地点の約 300m 手前で 1 回下記アナウンスを行います。

「ポーン♪ この先 事故多発ポイントです。」

### ■速度監視路線

速度監視路線として登録されている地点の約 1km 手前で 1 回下記アナウンスを行います。

「ポーン♪ この先 速度監視路線です。」

## 車速アラーム設定

---

- ・本設定を [10 ~ 120km/h] から選択し設定することで、設定した速度を超えた場合に下記アナウンスを行います。またアナウンス後 1 分間は再アナウンスを行いません。
- ・お買い上げ時は【OFF】に設定されています。

「キンコン♪ スピードの出し過ぎに注意しましょう。」

## エコモード設定

- ・エコモードを設定することで、エコ運転を支援する各アナウンスを行います。
- ・お買い上げ時は【OFF】に設定されています。

項目	アナウンス内容
加速評価（ふんわりアクセル）	ピコーン♪ ふんわりアクセルです。
加減速評価	ポーン♪ 緩やかな加速を心がけましょう。
	ポーン♪ 緩やかな減速を心がけましょう。
一定速度での運転評価	ピコーン♪ エコ運転です。
アイドリング検出機能	ポーン♪ 長時間のアイドリングは控えましょう。
タイヤの空気圧チェック	ポーン♪ タイヤの空気圧を点検しましょう。
エアコンの適正温度	ポーン♪ エアコンは適切な温度に設定しましょう。

### ■加速評価（ふんわりアクセル）

ゆっくりスタートした時に上記アナウンスを行います。

### ■加減速評価

急な加減速を検出した時に上記アナウンスを行います。

### ■一定速度での運転評価

30～60km/hにおいて一定速度での走行を続けると上記アナウンスを行います。

### ■アイドリング検出機能

速度が0km/hの状態が5分間連続した場合に上記アナウンスを行います。無駄なアイドリングをなくすことで、燃費の向上やCO<sub>2</sub>の削減に役立ちます。

※アナウンスを行うまでの時間を変更することはできません。

### 👉 アドバイス

アイドリング検出機能を使用する場合、車両情報ケーブルのACC線を車両IG線に接続することをおすすめします。

※車両ACC線に接続した場合、ACC ONの状態（エンジンOFF）でもアナウンスを行います。

### ■タイヤの空気圧チェック

月が変わって最初の起動時に1回、上記アナウンスを行います。

# 設定

## ■エアコンの適正温度

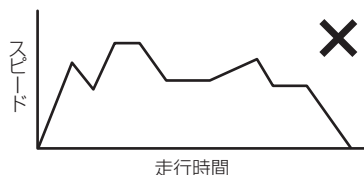
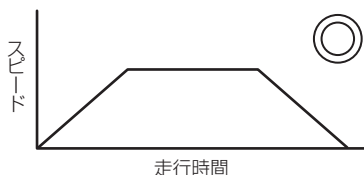
7/1～8/31の10:00～15:59に起動したときに1日に1回のみ前ページのアナウンスを行います。

## 👉 アドバイス

### エコ運転を行う際の注意点

1. 丁寧なアクセルワークを心がけましょう。  
※最初の5秒で20km/h程度になるのが目安です。
2. 車間距離に余裕を持ち、急加速・急減速を行わず速度変化の少ない運転をしましょう。
3. 早めにアクセルをOFFにし、エンジンプレーキを有効に使いましょう。
4. 気象条件に応じたエアコン操作をしましょう。
5. 不要なアイドリングはやめましょう。
6. タイヤの空気圧は定期的にチェックしましょう。
7. 無駄な荷物を車に積むのはやめましょう。

### ■アクセルワーク



## パスワードを設定する

パスワードを設定することで、プライバシーの保護や設定のロック、他人に録画データを見られないようにセキュリティを強化することができます。



注意

設定後、パスワードを忘れると解除することができなくなります。ご注意ください。

### ビューソフトでの操作方法

- 1) 『設定』画面内の『パスワード』を選択します。



- 2) 4桁の英数字を入力し、『OK』を押します。



- 3) 確認画面が表示されるので、『OK』を押します。



- 4) 次回ビューソフト起動時より、正確なパスワードを入力しないと再生することができません。

### パスワードについて

#### 【パスワードを設定した場合】

パスワードを忘れないように管理してください。

#### 【誤ったパスワードを入力した場合】

再度正しいパスワードを入力してください。

#### 【パスワードを忘れてしまった場合】

microSDカードのフォーマットをパソコンで行うことで使用することができます。ただし設定や録画データも消去されてしまいますのでご注意ください。

#### 【パスワード設定を解除する場合】

パスワード入力画面で『クリア』を選択してください。

# 設定

## 録画データを消去する

録画データのみを消去することができます。

※ 設定内容は初期化されません。

※ 録画データを 1 件単位で削除することはできません。

録画データの消去には約 5 分かかります。その間はエンジンスイッチを OFF にしたり、microSD カードを抜いたりしないでください。破損の原因となります。

## ビューワソフトでの操作方法

- 1) 『設定』画面内の『録画データ消去』を選択します。



- 2) 確認画面が表示されるので消去する場合は、『はい』を選択します。



- 3) 設定を行なった microSD カードをメインカメラに挿入し、エンジンスイッチを ACC(IG) にすることによってメインカメラに設定が反映され、録画データの消去が開始されます。



## 工場出荷時に戻す

工場出荷時に戻すことで、本体設定と記録した録画データを消去します。

工場出荷時に戻すには約5分かかります。その間はエンジンスイッチをOFFにしたり、microSDカードを抜いたりしないでください。破損の原因となります。

### ビューワソフトでの操作方法

- 1) 『設定』画面内の『工場出荷時に戻す』を選択します。



- 2) 確認画面が表示されるので工場出荷時の状態に戻す場合は、『はい』を選択します。



- 3) 設定を行なった microSD カードをメインカメラに挿入し、エンジンスイッチを ACC(IG) にすることによってメインカメラに設定が反映され、設定内容と**全ての録画データおよびパスワードの消去**が開始され、工場出荷時の状態に戻ります。

### アドバイス

- ・設定を変更する場合は、再度ビューワソフトから設定の変更を行なってください。
- ・録画データを1件単位で削除することはできません。

# 駐車録画機能を使用する

## 駐車録画機能について

- 本製品はエンジンスイッチ OFF 後も電源供給を行い、録画を行うことができる「駐車録画機能」を搭載しています。
- 駐車録画機能による「駐車録画モード」を使用するには、本製品の「駐車録画設定」を【ON】に設定してください。

### ⚠ 注意

- 駐車録画は車両の常時電源を使用しているため、車両バッテリーへの負荷がかかります。定期的に車両バッテリーの点検を行なってください。
- 次の方は車両バッテリー上がりの原因になりますのでご使用を控えてください。  
(毎日乗車しない・1日の走行が1時間以下・車両バッテリーを1年以上使用している)
- 駐車録画モードの使用後は車両バッテリー電圧が低下した状態のため、必ずエンジンを始動し、車両バッテリーの充電を行なってください。車両バッテリー上がりの原因となります。
- 車両バッテリー上がりに関して、弊社は一切の責任を負いかねますのでご了承ください。
- 長時間録画を行う場合、microSD カードの容量や本製品の設定により、録画データが上書きされる場合がありますのでご注意ください。

### ■ 駐車録画モード中に連続で録画できる時間について

「駐車録画時間設定」による【1時間】または【2時間】となります。

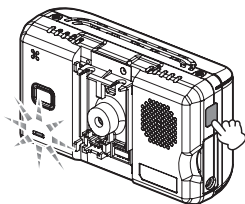
設定時間経過後、本機能は停止します。

停止後は、常時録画 / 衝撃録画はできません。あらかじめご了承ください。

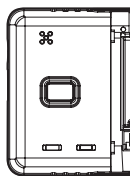
## 駐車録画モード作動中の microSD カードの取り出し方

駐車録画モード作動中の場合、エンジンスイッチを OFF にしてもメインカメラは動作しています。

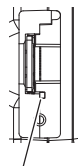
そのため microSD カードを抜く際は、**必ずキャンセルスイッチを長押しし、駐車録画モードを終了後、microSD カードアクセスランプが消灯したことを確認し、microSD カードを抜いてください。**



キャンセルスイッチを  
長押しする



駐車監視モード停止  
(LED 消灯)

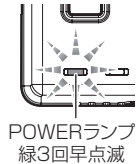


microSD カード  
アクセスランプ (LED 消灯)

## 駐車録画モードの動作について

### 駐車録画モードに移行する

- ・ [駐車録画] 設定を ON に設定し、エンジンスイッチを OFF にすると駐車録画モードに移行します。
- ・ 駐車録画モード動作中は POWER ランプが緑 3 回点滅します。 ■ 駐車監視モード動作中
- ・ 駐車録画モード中の常時録画データは『駐車常時録画』データとして記録され、衝撃録画データは『駐車衝撃録画』データとして記録されます。



#### 👉 アドバイス

エンジンスイッチ OFF 後、[降車キャンセル時間設定] の設定時間内は、降車時の振動による衝撃とみなし、衝撃の検出を行いません。

### 駐車録画モードを終了する

駐車録画モードは下記の操作や状態になった場合、動作を停止します。

- ・ エンジンスイッチが ACC または ON になった時
- ・ メインカメラのキャンセルスイッチを**長押し**した時
- ・ 車両バッテリー電圧が [停止電圧設定] の設定電圧以下になった時
- ・ [駐車録画時間設定] で設定した時間経過時

#### 👉 アドバイス

エンジンスイッチを ACC または ON 後、[乗車時キャンセル時間設定] の設定時間内に検出した衝撃は、乗車時の振動による衝撃とみなし、駐車衝撃録画を行いません。

# 駐車録画機能を使用する

## 駐車録画機能の各種設定

### 駐車録画設定 ※設定を変更すると録画データが消去されます。

- ・本製品の駐車録画モードは [OFF / ON] から選択できます。
- ・お買い上げ時は【OFF】に設定されています。

### メインカメラ画像サイズ (駐車) 設定 ※設定を変更すると録画データが消去されます。

- ・駐車録画モード中のメインカメラの記録映像サイズを [FullHD / HD / ロング] から選択できます。
- ・お買い上げ時は【HD】に設定されています。

### メインカメラフレームレート(駐車)設定 ※設定を変更すると録画データが消去されます。

- ・駐車録画モード中のメインカメラのフレームレートを [27.5fps / 16fps] から選択できます。
- ・お買い上げ時は【16fps】に設定されています。

### サブカメラフレームレート (駐車) 設定 ※設定を変更すると録画データが消去されます。

- ・駐車録画モード中のオプションカメラのフレームレートを [11fps / 5.5fps / 1fps] から選択できます。
- ・お買い上げ時は【11fps】に設定されています。

### サブカメラ (駐車) 設定 ※設定を変更すると録画データが消去されます。

- ・駐車録画モード中にオプションカメラを使用するかを [OFF / ON] から選択できます。
- ・オプションカメラを接続する場合は [ON] に変更してください。
- ・お買い上げ時は【OFF】に設定されています。

- ・設定を [OFF] の状態でオプションカメラを接続しても、消費電流増加防止のためにオプションカメラの映像は記録されません。必ず設定を [ON] に変更してください。
- ・バックカメラ映像は、駐車中に車両からの電源供給ができないため、設定を [ON] にしても記録されません。あらかじめご了承ください。

## 音声録音（駐車）設定

- ・駐車録画モード中の記録する映像に音声の録音を行うかの [OFF / ON] を設定できます。
- ・お買い上げ時は【ON】に設定されています。

## 衝撃感度（駐車）設定

- ・駐車録画モード中の衝撃を検出する感度を [OFF/ 鈍感 / やや鈍感 / 通常 / やや敏感 / 敏感] から選択できます。
- ・お買い上げ時は【通常】に設定されています。

## 降車時キャンセル時間設定

- ・車両から降車時の振動や衝撃による記録を行わない時間を [OFF/30 秒間 / 1 分間 / 3 分間] から選択できます。
- ・お買い上げ時は【1 分間】に設定されています。

## 乗車時キャンセル時間設定

- ・車両への乗車時の振動や衝撃による記録を行わない時間を [OFF/30 秒間 / 1 分間 / 3 分間] から選択できます。
- ・お買い上げ時は【1 分間】に設定されています。

## 駐車録画時間設定

- ・駐車録画の動作時間を [1 時間 / 2 時間] から選択できます。
- ・お買い上げ時は【1 時間】に設定されています。

### アドバイス

車両バッテリー保護のため、設定時間内でも車両バッテリーの電圧が【停止電圧設定】で設定した電圧以下に低下した場合、駐車録画モードを停止します。

# 駐車録画機能を使用する

## 停止電圧（駐車）設定

- ・ 駐車録画モードを停止する車両バッテリーの電圧を 12V / 24V 車両それぞれ 5 段階から選択できます。
- ・ お買い上げ時は 12V 車両は【12.0V】(24V 車両は【24.0V】)に設定されています。  
12V 車両..... [11.6V / 11.8V / 12.0V / 12.2V / 12.4V]  
24V 車両..... [23.2V / 23.6V / 24.0V / 24.4V / 24.8V]

## 駐車録画領域設定 ※設定を変更すると録画データが消去されます。

- ・ microSD カード内の駐車録画モードでの記録領域の割合を [20% / 50%] から選択できます。
- ・ お買い上げ時は【20%】に設定されています。

## 駐車録画モード時の記録時間（保存時間）の目安

以下、表に記載されている時間は、microSD カードに保存される目安の時間です。古いものから順に上書きされます。

録画サイズ	フレームレート	画質	記録時間
Full HD (1920x1080)	27.5fps	高画質	約 120 分
		低画質	約 155 分
	16fps	高画質	約 135 分
		低画質	約 180 分
HD (1280x720)	27.5fps	高画質	約 180 分
		低画質	約 290 分
	16fps	高画質	約 200 分
		低画質	約 320 分
ロング (848x480)	27.5fps	高画質	約 325 分
		低画質	約 465 分
	16fps	高画質	約 405 分
		低画質	約 770 分

- ※ 駐車録画領域設定を【20%】、サブカメラ（駐車）設定を【OFF】に設定した際の目安です。
- ※ 記録時間はあくまで参考値です。映像の明暗により記録時間は異なります。

### アドバイス

#### 録画時間 / 記録時間とは

録画時間…… 映像を録画している動作時間

記録時間…… 録画した映像を保存する時間

## 駐車録画モードについてのご質問

### Q. 駐車録画モード中はずっと録画していますか？

A. 本製品の駐車録画モード中は電源 OFF 後も設定により常時録画および衝撃録画を行います。ただし、駐車録画モード設定中でも [駐車録画時間設定] の設定時間経過後や、車両バッテリーの電圧が [停止電圧設定] の設定以下になると、駐車録画モードを終了します。

※ 夏の暑い日など、駐車録画モード中に本製品の使用温度範囲を超えた場合、録画を停止する場合があります。あらかじめご了承ください。

### Q. 駐車録画モードへ移行しない、すぐに停止してしまう。

- A. 1. [駐車録画] 設定が **[ON]** に設定されていることをご確認ください。  
 2. 本製品は車両バッテリー保護のため、停止電圧が設定されています。車両バッテリーが劣化している場合など、車両バッテリーの電圧が [停止電圧] 設定以下の場合やその付近の場合など駐車録画モードが作動しない場合があります。  
 3. 車両情報ケーブルの +B 線を、車両 ACC 線へ接続していると駐車録画モードへは移行しません。

### Q. 駐車録画モードを使用せず、走行中のみ録画したい。

A. [駐車録画] 設定を **[OFF]** に設定してください。

### Q. 駐車録画モードの作動確認を行うには？

A. 駐車録画モード作動中はメインカメラの POWER ランプが下記点滅を繰り返します。

状態	LED ランプ
駐車録画モード作動中	緑 3 回早点滅
駐車録画モード作動中に衝撃を検出	緑早点滅

### Q. 後方、側方の映像も録画しますか？

A. カメラの向いている方向のみの録画となります。

### Q. オプションカメラやバックカメラの映像も録画しますか？

A. オプションカメラは、サブカメラ設定 (⇒ P58) を [ON] に選択することで録画を行ないます。なおサブカメラ設定が [OFF] の場合はオプションカメラを接続しても録画を行ないません。

バックカメラ映像は、駐車中に車両からの電源供給ができないため、設定を [ON] にしても記録できません。あらかじめご了承ください。

### Q. 夜間の街灯などの無い暗い所でも撮影できますか？

A. 駐車録画モード中はヘッドライトなどの光源が無いため、状況によって鮮明な映像が記録できない場合があります。あらかじめご了承ください。

# 付 録

## こんなときは？

製品に異常があった場合、下記内容をご確認ください。

症 状	ここをチェックしてください。	参照ページ
POWER ランプが点灯しない。	<ul style="list-style-type: none"><li>●記録を間違えていませんか？</li><li>●外した中継コネクタやバッテリー端子を接続しましたか？</li><li>●ヒューズが切れていませんか？</li><li>●接触不良、断線などしていませんか？</li></ul>	22,24 ページ 29 ページ 76 ページ 22,24 ページ
記録した映像を削除したいのですが？	●設定画面にて『録画データ消去』を行うことで全映像を削除することができます。1 件ずつ削除することはできません。	64 ページ
事故の衝撃で車両バッテリーが破損しても映像を記録することはできますか？	●衝撃検出時バックアップ用スーパーキャパシタにより、車両のバッテリーが破損しても映像を最大 3 秒間記録することができます。(使用状況や周囲温度によって録画時間が短くなる場合があります)	—
バックアップ機能で映像が記録されない。	●バックアップ用スーパーキャパシタの充電が不十分であったり、バックアップ用スーパーキャパシタの寿命の可能性があります。	—
記録時間を変更するにはどうすればいいですか？	●本製品は画像サイズ、フレームレートおよび画質の設定を変更することで記録時間を変更することができます。	56 ページ
microSD カードの容量がいっぱいになったらどうなりますか？	●microSD カードの容量がいっぱいになると古い映像から順に上書きされていきます。	32 ページ
microSD カードに録画データが保存されていない。	●microSD カードは消耗品であり、書き込み可能回数など製品寿命があります。1 日 2 時間程度走行する場合で約 2 ～ 3 年を目安に交換することをおすすめします。また使用状況により microSD カードの寿命は短くなります。	8 ページ
ビューワソフトで速度が表示されない。/ 実際の速度と大幅に違う。	<ul style="list-style-type: none"><li>●車速パルス信号線の接触不良、断線などしていませんか？</li><li>●車速パルスの設定が間違っていると、速度が大幅に異なって表示されます。</li></ul>	23 ページ 58 ページ
記録した映像は、事故の証拠として認められていますか？	●事故発生時の参考資料として使用することを目的とした製品です。完全な証拠としての効力を保証するものではありません。	5 ページ
microSD カードがパソコンで認識されない。	<ul style="list-style-type: none"><li>●お使いの SD カードリーダーは SDXC に対応していますか？ 付属品は microSDXC カードとなっているため、SDXC に対応している必要があります。</li><li>●microSD カードは消耗品であり、書き込み可能回数など製品寿命があります。1 日 2 時間程度走行する場合で約 2 ～ 3 年を目安に交換することをおすすめします。また使用状況により microSD カードの寿命は短くなります。</li></ul>	— 8 ページ
記録した映像が暗い。	●本製品の [ 輝度設定 ] を 【明るい】 に変更することで改善する場合があります。	57 ページ



## アナウンス一覧表

下記アナウンスが発生した場合、項目別対処方法をご確認ください。

音声アナウンス内容	項目別対処方法
ブブ♪ SDカードをフォーマットする 必要があります マニュアルスイッチを 3秒間押してください	microSDカードの異常を検出し、自動で修復できない場合にアナウンスを行います。また、新しいmicroSDカードを挿入した際にもアナウンスを行います。 アナウンスに従い（マニュアルスイッチを3秒間押す）、フォーマットを行なってください。
ピピ♪ 録画データを消去しています	録画データの消去中にアナウンスを行います。
ピピ♪ 完了しました	録画データの消去が正常に完了した際にアナウンスを行います。そのままご使用ください。
ブブ♪ SDカードを確認してください	エンジンスイッチをOFF後、microSDカードのアクセスランプ（橙）が消灯したことを確認してください。 カードを抜き、端子部が汚れていないか確認し、エンジンスイッチをACC(IG)にしてください。 症状が改善されない場合は、microSDカードを交換してください。
ブブ♪ SDカードを 抜かないでください	起動中にmicroSDカードを抜いた際にアナウンスを行います。 エンジンスイッチをOFF後、microSDカードを挿入し、エンジンスイッチをACC(IG)にしてください。
ブブ♪ SDカードが挿入されていません	エンジンスイッチをOFF後、microSDカードを挿入し、エンジンスイッチをACC(IG)にしてください。
ブブ♪ スイッチが押されたままです 再起動を行なってください	エンジンスイッチをOFF後、メインカメラのスイッチが押されたままになっていないことを確認し、エンジンスイッチをACC(IG)にしてください。
ピピ♪ 録画データを修復しています	前回終了時に正常に録画データの保存が行われませんでした。 起動時に自動で録画データを修復します。
ピピ♪ 修復完了しました	録画データの修復が正常に完了した際にアナウンスを行います。 そのままご使用ください。
ブブ♪ 修復できませんでした	録画データの修復が正常にできなかった際にアナウンスを行います。 フォーマットを促すアナウンスに従い、microSDカードのフォーマットを行なってください。
ブブ♪ 機器温度が高くなっています	本製品の使用温度範囲を超えています。 夏場は車内が高温になるため、エアコンや窓を開けるなど、車内の温度が下がってからご使用ください。
ブブ♪ リセットスイッチを 押してください	メインカメラのリセットスイッチを押してください。 症状が改善されない場合は、購入された販売店へご相談ください。

# 付 録

音声アナウンス内容	項目別対処方法
ピピ♪ 充電中です しばらくお待ちください	バックアップ用スーパーキャパシタの充電が不足している場合にアナウンスを行います。約2分程度お待ちください。
ポーン♪ 車速パルスの設定が 完了しました	[車速パルス] 設定を【AUTO】に設定した状態で走行し、車速パルスの値が設定された際にアナウンスを行います。
ポーン♪ 駐車中に衝撃を検出しました 録画データがあります	駐車録画モード中に衝撃を検出した場合、次回起動時にアナウンスを行います。
ブブ♪ バッテリー保護のため 駐車録画を停止しました	駐車録画モード中に車両バッテリー電圧が[停止電圧]設定で設定された電圧以下に低下して駐車録画モードが停止した場合、次回起動時にアナウンスを行います。
ブブ♪ 異常を検出したため 駐車録画を停止しました	駐車録画モード中に本製品または microSD カードの異常を検出して駐車録画モードが停止した場合、次回起動時にアナウンスを行います。
ブブ♪ オプションカメラの接続を 確認してください	[サブカメラ]設定が【ON】に設定時、別売オプションカメラとの通信が正常に行われていません。ケーブルの接続確認およびメインカメラのリセットスイッチを押してください。 症状が改善されない場合は、購入された販売店へご相談ください。

## LED ランプ確認表

メインカメラ作動時の POWER ランプや CONNECT ランプ、microSD カードアクセスランプの LED 点灯パターンの確認表です。

※ メインカメラのみでは『CONNECT ランプ』は表示しません。外部通信機器と接続時のみ表示します。

### ◆ POWER ランプ

POWER ランプ表示	GPS 受信状態	内容
緑点灯	受信	正常動作（記録中）
遅い緑点滅	未受信	
早い緑点滅	—	スイッチ操作、衝撃または速度超過による記録中
緑3回早点滅		駐車録画モード中
橙点灯		システムチェック中
橙点滅		音声アナウンスを確認後、各アナウンスに対する対処方法をご確認ください（⇒ P73,74）
早い橙点滅		録画データの消去中

### ◆ CONNECT ランプ

CONNECT ランプ表示	内容
緑点滅	外部通信機器との接続確認中（メインカメラ起動時のみ）
緑点灯	外部通信機器と接続中
橙点滅	外部通信機器と接続出来ない場合にランプが点滅します。外部通信機器との接続を確認してください。

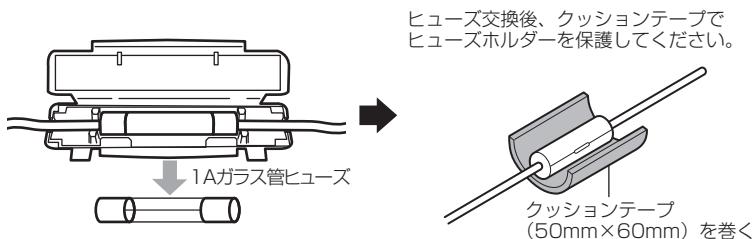
### ◆ microSD カードアクセスランプ

表示	内容
橙点滅	microSD カードへアクセス中はランプが点滅します。（起動～システム OFF まで）ランプ点滅中は microSD カードを抜かないでください。故障の原因となります。

# 付 録

## ヒューズの交換方法について

- 車両情報ケーブルのヒューズホルダーのキャップを開け、同じ容量、サイズのガラス管ヒューズと交換してください。
- ヒューズ交換後、ヒューズホルダーへ異音防止のため、付属のクッションテープを巻いてください。



## 商標について

- 「QuickTime」は、米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。
- 「Google マップ」は、Google Inc. の商標または登録商標です。
- 「Windows」は、米国 Microsoft Corporation の、米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- microSD™、microSDHC™、microSDXC™ は SD-3C, LLC の登録商標です。
- microSDHC ロゴ、microSDXC ロゴは SD アソシエーションの登録商標です。
- その他本取扱説明書に記載されている各種名称や会社名、商品名などは、各社の商標または登録商標です。なお、本文中では TM、® マークは明記していません。

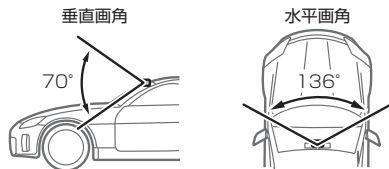


## 製品仕様

電源電圧	12V / 24V	
動作電圧範囲	11.5V ~ 28V	
最大消費電流	12V車	通常時: 0.3A 以下 (オプションカメラ接続時: 0.4A 以下)
		スーパーキャパシタ充電時: 0.9A 以下 (オプションカメラ接続時: 1.0A 以下)
	24V車	通常時: 0.15A 以下 (オプションカメラ接続時: 0.2A 以下) スーパーキャパシタ充電時: 0.4A 以下 (オプションカメラ接続時: 0.5A 以下)
動作温度範囲	-10℃ ~ 60℃	
カメラ	撮像素子	1/2.7型 CMOS センサー
	総画素数	200万画素
	有効画素数	最大200万画素
	レンズ画角	水平 136° 垂直 70°
	F値	F2.0
レンズ材質	ガラス	
記録映像サイズ	FullHD (1920 × 1080) / HD (1280 × 720) / ロング (848 × 480)	
GPS	あり	
Gセンサー	あり (0.1G ~ 1.0G: 調整可)	
バックアップ電源	あり (スーパーキャパシタ)	
記録方式	常時録画 / イベント録画 (衝撃録画 / マニュアル録画 [ 手動録画 ] / 速度超過録画)	
音声録音	ON / OFF 可能	
フレームレート	27.5fps / 16fps	
記録映像再生方法	専用ビューソフト ※ Windows 10 / 11 専用 (タブレットPC 除く)	
外部入力	別売オプションカメラ、市販品バックカメラ中継器 RCA 出力端子 (NTSC) 対応	
記録媒体	microSDHC カード 32GB 対応 Class10 推奨	
	microSDXC カード 64GB ~ 128GB 対応 Class10 推奨 同梱品: 64GB/Class10	
メインカメラサイズ (突起部除く)	100 (W) × 54 (H) × 35.6 (D) /mm	
	取付ステー装着時: 100 (W) × 87.5 (H) × 35.6 (D) /mm	
メインカメラ重量	170g(取付ステー含む)	

※ 本製品の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。

## ■カメラ画角イメージ





# COM-PRO V 保証書

保証期間	ご購入日より2年間
対象部品	メインカメラ ※その他付属品は除く

## 保証規定 (必ずお読みください)

### 1. 保証の内容

取扱説明書の内容に従った使用方法で不具合が発生した場合、この保証書に示す保証期間と条件に従って無償修理(保証修理)を受けることができます。  
(以下、この無償修理を保証修理といえます)

保証修理は部品の交換あるいは製品の交換により行い、交換された部品・製品は弊社の所有となります。この保証修理による保証修理の対象は本書記載の対象部品に限りです。  
なお、本製品は全ての映像を記録することを保証するものではありません。

### 2. 保証修理の受け方

保証修理をお受けになる場合、お買い上げいただいた販売店にこの保証書をご提示の上、保証修理をお申し付けください。

ご提示がない場合、保証修理をお受けいたしかねます。なお、販売店がこの保証書にご購入日の証明をされていない場合は、お客様のご購入日を確認できる書類(レシートなど)を添付してください。

販売店に製品を送付される場合、この保証書を製品に添えてお送りください。  
製品を送付される場合、宅配便など送料控が残る方法をお願いします。

なお、送料などの諸費用、引取りに伴う出張費はお客様のご負担になります。また送料着払いにて発送された場合、弊社からお客様に着払いにて返送させていただきます。あらかじめご了承ください。

### 3. 保証しない事項

1) 保証期間内で次のような場合には保証修理いたしません。

- (1) 取扱説明書に記載されている"警告・注意・ご使用上のお願ひ"その他記載内容を遵守されなかったことによる故障または損傷。
- (2) 車載用ドライブレコーダー以外の用途(例えば、住居・船舶・建設機械等)で使用されたことによる故障または損傷。
- (3) 指定以外(DC12V/24V)の電源で使用した場合、および電源の逆接続などによる故障または損傷。
- (4) 弊社または弊社指定の取扱販売店以外による点検・修理・移設・分解したもの、改造したもの。
- (5) お買い上げ後の落下・衝撃・水濡れ・結露などによる故障または損傷。
- (6) 火災・地震・風水害・落雷・その他天変地異や公害・塩害・異常電圧・事故などによる故障または損傷。

- (7) 弊社指定の部品以外をご使用になったことによる故障または損傷。
- (8) 本機での使用目的以外のデータを記録したmicroSDカード、弊社指定以外のmicroSDカードのご使用によって生じた記録データの消失または破損。
- (9) 車両事故によって生じた記録データの消失または破損。
- (10) 使用推奨期限を超過したmicroSDカードをご使用になられたことによる記録データの消失または破損。
- (11) カメラレンズの汚れ、フロントガラスに付着した汚れ・水滴・高輝度光源などを介して記録したデータの見づらさ。
- (12) 本製品以外の故障等に誘発された記録データの消失・破損、メインカメラの故障または損傷。
- (13) ご使用によって生じる外観・美観・色あせなどの外観上の現象。
- (14) 取扱説明書に記載されている、温度の範囲を超えた環境下でご使用になられたことによる故障または損傷。

2) 次に示すものの費用は負担いたしません。

- (1) 商品を使用できなかったことによる不便さおよび損失。
- (2) 消耗部品(microSDカード、1Aガラス管ヒューズ)および上記対象部品以外の付属品
- (3) 本製品の使用・故障・修理に伴う二次的損害(修理品の送料、脱着工賃)に対する補償。

### 4. 保証の発効

保証書に必要な事項を記入、捺印することにより有効となります。

本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。

### 5. 保証の適用

この保証書は日本国内で使用されている場合のみに適用いたします。

(This warranty is valid only in JAPAN)

### 6. その他

この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて保証修理をお約束するものです。

この保証書によって保証書を発行している者(保証責任者)および、それ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

保証期間満了後の修理等についてご不明の場合は、お買い上げの販売店にお問合せください。

# 保証書

コピー不可

本書は保証規定(裏面参照)に明示した条件のもと、無償修理を行うことをお約束するものです。保証期間中に、正常なご使用状態で万一故障が発生した場合には、本書をご提示のうえ、お買上げの販売店に修理をご依頼ください。

品番	COM-PRO V	シリアルNo.			
お買上げ年月日	お買上げ日 西暦 年 月 日				
保証期間	お買上げ日から2年				
対象部分	メインカメラ ※その他付属品は除く。				
お客様	お名前 様	店名・住所・電話・捺印			
	ご住所 〒 -	★販売店	印		
電話番号 ( ) -	※本欄に記入または捺印が無い場合、必ず販売店様発行の領収書など、購入年月日、店名などを証明するものをお貼りください。				
お取付車両	メーカー名	車名	年式	型式	グレード
故障内容					

※保証書に販売店名、購入年月日を証明するもの、または購入証明書(納品書や領収書)が無いものは保証対象外とさせていただきます。またお送り頂く際の送料は保証に含まれていません。あらかじめご了承ください。

## お問い合わせ

製品のお取扱方法、修理等に関するご相談は、お買上げ頂いた販売店または下記弊社サービスセンターまでお問い合わせください。ただし、お客様ご自身の取付作業に対するサポートは行なっておりません。



# 0800-200-5654

受付時間 10:00~17:00

※土・日・祝日・年末年始・夏季休暇・GW等、弊社指定期間を除く。

※非通知設定ではお繋ぎできません。恐れ入りますが電話番号の前に「186」をつけるなど、電話番号を通知しておかけください。

※携帯電話や公衆電話、050から始まるIP電話からはご利用いただけません。また、一部の光電話からもご利用いただけない場合があります。その際は下記番号よりおかけください。

## 0561-56-1814 (有料)

株式会社コムテック

〒470-0151 愛知県愛知郡東郷町大字諸輪字池上 1-1

HP: <https://www.e-comtec.co.jp>